

教育学部

学校教育課程

I. 取得できる教育職員免許状

学校教育課程の卒業要件を満たしたうえで、「教育職員免許法施行規則」に定める指定科目及び「教育実践に関する科目」を修得すると、「教育職員免許状」(以下「免許状」という。)の取得に必要な要件を満たすことができます。

1. 取得できる免許状の種類と教科

本学の呼称	免許状の種類と教科	概要
小免	小学校教諭一種免許状	卒業の要件に加え、所定の科目の単位を修得することによって取得できます。
中高免	中学校教諭一種免許状「所属専修教科」 高等学校教諭一種免許状「所属専修教科」	小免に加えて、所属専修で取得できる免許状です。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

学校教育課程では、教員養成を目的とする学部の性格上、教育職員免許法で定められている「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の必要単位の殆どが卒業要件の中に「必修」となっています。これ以外に、教育実習等の「教育実践に関する科目」の単位を修得すれば免許状取得のための必要単位を満たすことになります。

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の種類	所要資格	基礎資格	法令における最低修得単位数		
			教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
小学校教諭一種免許状		学士の学位を有すること。	30	27	2
中学校教諭一種免許状			28	27	4
高等学校教諭一種免許状			24	23	12

※ 「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注意1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「特別支援教育に関する科目」は、法令上の領域に分けられています。その領域の条件を満たすように学校教育課程の科目(カリキュラム)が開設されています。

(注意2) 「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注意3) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験 (4.「介護等体験」について9ページ参照)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設 年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体育科目	運動と健康 I	①	1	2
		運動と健康 II	①	1	
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎 又は情報活用	2	1	2

3. 教育実習について

教育実習は、4年次において行われる免許状取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、小学校、中学校のいずれかに出向き、定められた期間、実習校の教師と同様に勤務し、観察、参加、実習を通して大学での修得した学問の研究の成果が、教育の現場で問われるものです。

その体験を通して、教師としての認識・自覚・態度を形成することによって教育者精神の把握、教育者としての使命感などを自覚し、後日、教師活動展開のための素地を育成することを意図しており、その意味で、教育実習は最後の総仕上げということになります。

(1) 教育実習の期間

教育実習の種別	実習期間	対応する科目
小学校教育実習	20 日間	初等教育実習
中学校教育実習※	10 日間	中等教育実習 I・II

※「中等教育実習」は、中学校・高等学校どちらでも可。

(2) 教育実習の履修資格について

4年次に「初等教育実習」及び「中等教育実習 I・II」を履修する者は、「教育学部履修規程」に定められている次の条件を満たしていなければなりません。

- ① 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ② 修得した単位のうち卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに 70 単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに90単位以上であること。
- ③ 履修すべき専門科目を指定された場合は、その科目の単位が修得済みであること。
- ④ 原則として、以下の条件を満たすこと。
 - ㊦ 介護等体験及び教育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。
 - ㊧ 教育実習に必要な書類が全て提出されていること。
 - ㊨ 教育実習費が完納されていること。
 - ㊩ 実習校・教育委員会などから課せられている条件を全て満たすこと。
- ⑤ 注意事項
 - ㊦ 生活態度、健康状態などを健全に保つことに心掛けましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
 - ㊧ 病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(3) 教育実習校の配当・開拓について

小学校教育実習は、大学が主に埼玉県・千葉県の一部及び東京都内の教育委員会と調整を図り、実習校を決定(配当)します。

中学校(又は高等学校)教育実習は、教育実習を行う実習校を自分で探さなければなりません。出身校も

しくは知人等から紹介を受けた学校を訪問し、教育実習の受け入れを依頼することになります。

※ 教育実習に関する詳細は、3年次の3～4月に行われる「教育実習開拓オリエンテーション」で説明します。

4. 「介護等体験」について

「介護等体験」とは、特別支援学校と生活訓練施設・老人ホーム等の社会福祉施設で障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を行うことです。

以下に概要を記しました。説明会や事前指導は必ず出席してください。欠席は認めません。さらに、ここには記載されていませんが、特別支援学校や社会福祉施設において行われるオリエンテーションがあります。体験の一環ですので必ず出席しなければなりません。申請説明会やオリエンテーションの日程等の連絡は、全て掲示やホームページでお知らせします。見落とさないよう注意してください。

なお、学生個人が、特別支援学校や社会福祉施設に直接体験の申し込みをすることは認められていません。大学が取りまとめて、教育委員会や社会福祉協議会へ申請をします。

学年	時期	「介護等体験」期間(体験日数)	
		特別支援学校(2日間)	社会福祉施設(5日間)
1年次	10～12月	説明会及び申請書提出 費用の納入(別掲載)	
2年次	4月	体験校の発表	
	5月～ 随時	本学教員による事前指導 体験実施及び体験証明書の授受	
	10～ 12月		説明会及び申請書提出
3年次	4月～ 随時		体験施設の発表(掲示) 本学教員による事前指導
	6月～ 随時		体験期間ごとの事前指導、資料配布 体験実施及び体験証明書の授受

Ⅱ. 希望することによって取得できる教育職員免許状(他専修免)

学校教育課程では、自専修で取得できる小免、中高免のほかに、他専修科目の必要な単位を修得することによって取得することができる免許状があります。その免許状を「他専修免」と呼んでいます。所属専修によって履修条件(修得すべき単位数)が異なりますので注意してください。

なお、「他専修免」については、2年次から4年次の3年間に自分の所属する専修の卒業に必要な科目の時間割を組んだ後、空いた時間で取得に必要な指定科目を履修していくため、在学中に免許状取得に必要な科目の全てを履修することができない場合があります。したがって、他専修免履修に際し、二種免許状取得に必要な科目を優先して履修するようにしてください。

1. 取得できる免許状と履修条件

(1) 取得できる免許状の種類と教科

本学の呼称	免許状の種類・教科
他専修免	中学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 高等学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 特別支援学校教諭一種免許状 ※ 発達教育課程特別支援教育専修で履修しますが、教育実習に行かれないため、卒業と同時に免許状を取得することはできません。

(2) 取得できる免許状の履修パターン

履修の方法としては、以下のパターンのいずれか1つを選択します。

	履修パターン	他専修免
1	小学校教諭一種免許状	
2	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	
3	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	中学校一種免許状「所属専修以外の1教科」 高等学校一種免許状「所属専修以外の1教科」
4	小学校教諭一種免許状 中学校一種免許状「所属専修教科」 高等学校一種免許状「所属専修教科」	(特別支援学校教諭一種免許状)(注)

(注) 他専修免で特別支援学校一種免許状を履修する場合、「障害児教育実習」の履修ができません。詳細については、1年次秋に行われる「副免教職課程履修説明会」で説明します。

(3) 履修上の注意

- ① 履修パターンは、1年次の秋学期に登録し、登録したパターンで履修しなければなりません。
- ② 中高免の履修は、2年次の履修登録前までに新たな履修希望の申し出があれば認めることがあります。
- ③ 他専修免の履修については、指定された届出日までに申請のうえ、選考により履修が認められます。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

小免、中高免については、「I. 取得できる教育職員免許状」で述べたとおりです。ここでは、特別支援学校教諭の免許状についてのみ記載します。

	基礎資格	法令における最低修得単位数
		特別支援教育に関する科目
特別支援学校教諭 一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。	26
特別支援学校教諭 二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。	16

(2) 履修上の注意(卒業要件との関係)について

- ① 他専修免の「国語」「社会・地歴」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「家庭」「英語」「特別支援学校」を取得するために修得した単位のうち、「教科及び教科の指導法に関する科目」「特別支援教育に関する科目」は、卒業の要件に含めることはできません。
- ② 他専修免を取得するために他専修・他課程・他学部で開かれている科目を聴講し修得した単位は、卒業の要件に含めることができません。

(3)免許状取得に必要な科目と単位数

教育学部 学校教育課程

小学校教諭一種免許状

小学校教諭免許状取得に必要な科目は、各専修のカリキュラム表に全て含まれます。

このページ及び次ページの表は、各科目が法令にどのように規定されているか確認するためのものです。

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めること が必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	必修	1	1	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」の合計が59単位以上	
			社会	必修	1	1			
			算数	必修	1	1			
			理科	必修	1	1			
			生活	必修	1	1			
			音楽	必修	1	1			
			図画工作	必修	1	1			
			家庭	必修	1	1			
			体育	必修	1	1			
			外国語	必修	1	1			
	各教科教材の活用(情報機器及び)	30	30	国語(書写を含む。)	必修	2	2		20単位以上
				社会	必修	2	2		
				算数	必修	2	2		
				理科	必修	2	2		
				生活	必修	2	2		
				音楽	必修	2	2		
				図画工作	必修	2	2		
				家庭	必修	2	2		
				体育	必修	2	2		
				外国語	必修	2	2		
				国語(書写を含む。)	選必	2	3		
				社会	選必	2	3		
				算数	選必	2	3		
				理科	選必	2	3		
				生活	選必	2	3		
				音楽	選必	2	3		
				図画工作	選必	2	3		
				家庭	選必	2	3		
体育	選必	2	3						
外国語	選必	2	3						

学校教育課程 小学校教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	
			教育の歴史	選必	2	2		
			教育哲学	選必	2	2		
			教育学特講	選必	2	3		
			教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1	2単位
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2	2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2					
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2					
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3					
教育社会学特講	選必	2	3					
学級経営	選必	2	2					
国際理解教育の研究	選必	2	3					
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	1	2単位以上			
子どもの心理と教育	選必	2	2					
教授・学習過程論	選必	2	3					
教育心理学特講	選必	2	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上			
特別支援教育の研究	選必	2	3					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	
			道徳教育実践論	選必	2	3		
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位
			特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上
			特別活動実践論	選必	2	3		
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上
			教育学	選必	2	2		
教育メディア論	選必	2	3					
教育評価	選必	2	3					
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上			
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)	選必	2	3				
第五欄	教育実践に関する科目	5	初等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
			初等教育実習	選択	4	4		
		2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位	
第六欄	大学が独自に設定する科目	14	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
			教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		

【合計】 41

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上
					教育の歴史	選必	2	2		
		教育哲学	選必	2	2					
		教育学特講	選必	2	3					
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	教職概論	必修	2	1	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学	選必	2	2	2単位以上	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
	教育社会学特講	選必	2	3						
	学級経営	選必	2	2						
		国際理解教育の研究	選必	2	3					
		教育心理学	必修	2	1	2単位以上				
		子どもの心理と教育	選必	2	2					
		教授・学習過程論	選必	2	3					
		教育心理学特講	選必	2	3					
		特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
		特別支援教育の研究	選必	2	3					
		教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
					特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
					教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
	教育評価	選必	2	3						
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上
					教育の歴史	選必	2	2		
		教育哲学	選必	2	2					
		教育学特講	選必	2	3					
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	10	教職概論	必修	2	1	2単位	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育社会学	選必	2	2	2単位以上	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
	教育社会学特講	選必	2	3						
	学級経営	選必	2	2						
		国際理解教育の研究	選必	2	3					
		教育心理学	必修	2	1	2単位以上				
		子どもの心理と教育	選必	2	2					
		教授・学習過程論	選必	2	3					
		教育心理学特講	選必	2	3					
		特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
		特別支援教育の研究	選必	2	3					
		教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
					特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
					教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
	教育評価	選必	2	3						
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法	
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校
第二欄 教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	日本史	20	日本史概説	必修	2	1	必修科目以外に14単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上 必修科目以外に14単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が63単位以上	「法律学、政治学」「社会学、経済学」「哲学、倫理学、宗教学」の領域を除き、必修科目以外に○印の科目を含んで14単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
				日本史経済史	選必	2	1		
				日本文化史	選必	2	2		
				日本政治史	選必	2	2		
				日本史演習	選必	2	3		
				日本史特別演習	選必	2	3		
	外国史	20	世界史概説	必修	2	1			
			国際関係史	選必	2	1			
			ヨーロッパ社会史	選必	2	2			
			東アジア史	選必	2	3			
			外国史演習	選必	2	3			
			外国史特別演習	選必	2	3			
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学及び自然地理学	20	地理学概説	必修	2	1		
				人文地理学	選必	2	2		
地誌	20	自然地理学	選必	2	3				
		地理学演習	選必	2	3				
「法律学、政治学」	20	20	地理学特別演習	選必	2	3			
			○ 地誌学	選必	2	1			
「社会学、経済学」	20	20	法律学概説	選必	2	3			
			政治学概説	必修	2	2			
「哲学、倫理学、宗教学」	20	20	社会学概説	選必	2	3			
			経済学概説	必修	2	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	8	哲学概説	選必	2	3			
			倫理学概説	必修	2	1			
			宗教学概説	選必	2	3			
			教科教育法「社会・地歴」Ⅰ	必修	2	2			
【合計】	28	24	教科教育法「社会・地歴」Ⅱ	必修	2	2			
			教科教育法「社会・地歴」Ⅲ	必修	2	3			
			教科教育法「社会・地歴」Ⅳ	必修	2	3			

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2			
				教育哲学	選必	2	2			
				教育学特講	選必	2	3			
				教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1		2単位
				教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2		2単位以上
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
	教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
	教育社会学特講	選必	2	3						
	学級経営	選必	2	2						
	国際理解教育の研究	選必	2	3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学	必修	2	1	2単位以上					
	子どもの心理と教育	選必	2	2						
	教授・学習過程論	選必	2	3						
	教育心理学特講	選必	2	3						
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
		特別支援教育の研究	選必	2	3					
教育課程論	必修	1	1	1単位						
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位		
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3		2単位以上
					特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1		1単位以上
					教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
教育評価	選必	2	3							
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3						
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位			
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「数学」・高等学校教諭一種免許状「数学」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20	20	線形代数学Ⅰ	必修	2	1	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
					線形代数学Ⅱ	選必	2	1		
					代数学概論	必修	2	2		
					群論	選必	2	3		
					代数学演習	選必	2	3		
					ガロア理論	選必	2	3		
					幾何学概論	必修	2	1		
					変換幾何	選必	2	2		
					初等幾何	選必	2	3		
					幾何学演習	選必	2	3		
解析学	微分積分学Ⅰ	選必	2	1						
	微分積分学Ⅱ	選必	2	1						
	解析学概論	必修	2	2						
	複素解析	選必	2	3						
	解析学演習	選必	2	3						
	微分方程式	選必	2	3						
「確率論、統計学」	確率統計	必修	2	2						
	確率統計特論	選必	2	3						
コンピュータ	コンピュータ	必修	2	2						
	計算科学	選必	2	3						
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	教科教育法「数学」Ⅰ	必修	2	1				
			教科教育法「数学」Ⅱ	必修	2	2				
			教科教育法「数学」Ⅲ	必修	2	2				
			教科教育法「数学」Ⅳ	必修	2	3				
【合計】			28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「数学」・高等学校教諭一種免許状「数学」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2			
				教育哲学	選必	2	2			
				教育学特講	選必	2	3			
				教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1		2単位
				教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2		2単位以上
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
	教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
	教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
	教育社会学特講	選必	2	3						
	学級経営	選必	2	2						
	国際理解教育の研究	選必	2	3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学	必修	2	1	2単位以上					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	子どもの心理と教育	選必	2	2						
	教授・学習過程論	選必	2	3						
	教育心理学特講	選必	2	3						
	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上					
	特別支援教育の研究	選必	2	3						
	教育課程論	必修	1	1	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3		1単位
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3		2単位以上
					特別活動実践論	選必	2	3		
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1		1単位以上
				生徒指導の理論及び方法	教育工学	選必	2	2		
					教育メディア論	選必	2	3		
教育評価	選必	2	3							
生徒指導・進路指導	必修	2	2		4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3							
教育相談の理論と方法	必修	2	3							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法										
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわらず、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「理科」・高等学校教諭一種免許状「理科」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
					教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
					教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	教育社会学	選必	2	2
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	学級経営	選必	2	2	2単位以上				
	国際理解教育の研究	選必	2	3					
	教育心理学	必修	2	1		2単位以上			
	子どもの心理と教育	選必	2	2					
教授・学習過程論	選必	2	3						
教育心理学特講	選必	2	3						
特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上				
	特別支援教育の研究	選必	2	3					
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含 む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導、教育相談等 に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上
		道徳教育実践論			選必	2	3		
		総合的な学習の時間の指導法			必修	1	3	1単位	
		特別活動の指導法			特別活動	必修	2	3	2単位以上
					特別活動実践論	選必	2	3	
		教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。)			教育方法論	必修	1	1	1単位以上
					教育工学	選必	2	2	
					教育メディア論	選必	2	3	
教育評価	選必		2	3					
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3	4単位以上				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)								
第五欄	教育実践に関する科目	中等教育実地研究	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位
		中等教育実習Ⅰ			選択	2	4		
		中等教育実習Ⅱ			自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
【合計】		31	35						
【「第六欄」を除く合計】		27	23						

27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習Ⅰ』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「音楽」・高等学校教諭一種免許状「音楽」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法	
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校
第二欄	教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	ソルフェージュ		ソルフェージュⅠ	必修	1	1	必修科目以外に○印の科目の単位を含み、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上	必修科目以外に○印の科目の単位を含み、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
		声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)		ソルフェージュⅡ	選必	1	2		
				声楽Ⅰ(日本の伝統的な歌唱を含む)	必修	1	1		
				○ 声楽Ⅱ	選必	1	1		
				和楽器演習(三味線)	選必	1	1		
				合唱Ⅰ	必修	1	2		
				○ 声楽Ⅲ	選必	1	2		
				○ 合唱Ⅱ	選必	1	2		
				○ 声楽Ⅳ	選必	1	2		
				声楽Ⅴ	選必	1	3		
声楽Ⅵ	選必			1	3				
器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		ピアノⅠ	必修	1	1				
		アンサンブルスタディⅠ	必修	1	2				
		○ ピアノⅡ	選必	1	1				
		アンサンブルスタディⅡ	選必	1	2				
		○ 和楽器演習(箏曲)	選必	1	1				
		○ ピアノⅢ	選必	1	2				
		○ ピアノⅣ(伴奏法を含む)	選必	1	2				
		アンサンブルスタディⅢ	選必	1	3				
		アンサンブルスタディⅣ	選必	1	3				
		ピアノⅤ	選必	1	3				
ピアノⅥ	選必	1	3						
指揮法		指揮法	必修	1	3				
		音楽理論	必修	2	1				
		作曲Ⅰ(編曲法を含む)	必修	2	1				
		○ 西洋音楽史	選必	2	1				
音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		音楽史総合(日本の伝統・諸民族音楽を含む)	必修	2	2				
		○ 作曲Ⅱ	選必	2	2				
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		教科教育法「音楽」Ⅰ	必修	2	1		
				教科教育法「音楽」Ⅱ	必修	2	2		
教科教育法「音楽」Ⅲ	必修			2	3				
教科教育法「音楽」Ⅳ	必修			2	3				
【合計】		28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「音楽」・高等学校教諭一種免許状「音楽」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修得すべき 単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2			
				教育哲学	選必	2	2			
				教育学特講	選必	2	3			
				教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1		2単位
				教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	教育社会学	選必	2	2		2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2							
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2							
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3							
教育社会学特講	選必	2	3							
学級経営	選必	2	2							
国際理解教育の研究	選必	2	3							
幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	1	2単位以上					
子どもの心理と教育	選必	2	2							
教授・学習過程論	選必	2	3							
教育心理学特講	選必	2	3							
特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上					
特別支援教育の研究	選必	2	3							
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含 む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
				特別活動実践論	選必	2	3			
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
				教育工学	選必	2	2			
				教育メディア論	選必	2	3			
教育評価	選必	2	3							
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
教職実践演習	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位					
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「美術」・高等学校教諭一種免許状「美術」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項	中学校	高等学校	20	20	絵画Ⅰ	必修	1	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上	「工芸」の領域を除き、必修科目以外に10単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
						素描	選必	1		
						絵画Ⅱ	必修	2		
						油彩画	選必	2		
						日本画	選必	3		
						版画	選必	3		
						絵画表現	選必	4		
		総合造形	選必	2						
		彫刻Ⅰ	必修	1						
		塑造	選必	1						
彫刻Ⅱ	必修	2								
彫造	選必	2								
鑄造	選必	3								
環境造形	選必	3								
デザインⅠ	必修	1								
デジタル表現	選必	1								
造形材料と加工	選必	1								
イラストレーション	選必	2								
デザインⅡ	必修	2								
ペーパーエンジニアリング	選必	2								
メディアデザイン	選必	3								
クラフトデザイン	選必	3								
工芸Ⅰ	必修	1								
陶芸	選必	2								
工芸Ⅱ	必修	2								
工芸表現	選必	3								
美術理論	必修	2								
美術文化論	選必	2								
色彩学	選必	2								
美術文化特別実習	選必	3								
美術史	必修	2								
美術史演習	選必	2								
教科教育法「美術」Ⅰ	必修	2								
教科教育法「美術」Ⅱ	必修	2								
教科教育法「美術」Ⅲ	必修	2								
教科教育法「美術」Ⅳ	必修	2								
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4								
【合計】				28	24					

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「美術」・高等学校教諭一種免許状「美術」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修得すべき 単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2			
				教育哲学	選必	2	2			
				教育学特講	選必	2	3			
				教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1		2単位
				教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	教育社会学	選必	2	2		2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2							
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2							
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3							
教育社会学特講	選必	2	3							
学級経営	選必	2	2							
国際理解教育の研究	選必	2	3							
幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	1	2単位以上					
子どもの心理と教育	選必	2	2							
教授・学習過程論	選必	2	3							
教育心理学特講	選必	2	3							
特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上					
特別支援教育の研究	選必	2	3							
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含 む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
				特別活動実践論	選必	2	3			
				教育の方法及び技術(情報機 器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
				教育工学	選必	2	2			
				教育メディア論	選必	2	3			
教育評価	選必	2	3							
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3							
教育相談の理論と方法	必修	2	3							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法										
進路指導及びキャリア教育の理論及び 方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
教職実践演習	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位					
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわらず、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「保健体育」・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	第二欄	中学校	高等学校					単位	中学校	高等学校
				中学 高校						
教科に関する専門的事項 教科及び教科の指導法に関する科目	体育実技		20	20	器械運動	必修	1	2	必修科目以外に○印の科目全てと△印の科目から2単位以上を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上	必修科目以外に○印の科目全てと△印の科目から2単位以上を含んで8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
					○ 陸上競技	選必	1	1		
					水泳	必修	1	2		
					○ 表現運動・ダンスA	選必	1	1		
					○ 武道	選必	1	3		
					球技A	選必	1	1		
					球技B	選必	1	1		
					球技C	選必	1	2		
					冬季スポーツ	選必	1	2		
					表現運動・ダンスB	選必	1	3		
					球技D	選必	1	3		
					○ 球技	選必	1	3		
					野外活動	選必	1	3		
					○ 体づくり運動	選必	1	3		
	体育原理	必修	2	1						
	体育運動学	必修	2	1						
	△ 体育心理学	選必	2	2						
△ 体育史	選必	2	3							
△ 体育社会学	選必	2	3							
△ 体育学研究法	選必	2	3							
△ 体育経営管理学	選必	2	3							
生理学(運動生理学を含む。)	必修	2	2							
△ 運動生理学演習	選必	2	3							
衛生学・公衆衛生学	必修	2	1							
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	必修	2	3							
△ ヘルスプロモーション	選必	2	3							
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			8	4	教科教育法「保健体育」I	必修	2	1		
					教科教育法「保健体育」II	必修	2	2		
					教科教育法「保健体育」III	必修	2	3		
					教科教育法「保健体育」IV	必修	2	4		
			【合計】	28	24					

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「保健体育」・高等学校教諭一種免許状「保健体育」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修得すべき 単位数	
		中学	高校							
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上	27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上	
				教育の歴史	選必	2	2			
				教育哲学	選必	2	2			
				教育学特講	選必	2	3			
				教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職概論	必修	2	1		2単位
				教育に関する社会的、制度的 又は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応 を含む。)	教育社会学	選必	2	2		2単位以上
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2							
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2							
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3							
教育社会学特講	選必	2	3							
学級経営	選必	2	2							
国際理解教育の研究	選必	2	3							
幼児、児童及び生徒の心身の 発達及び学習の過程	教育心理学	必修	2	1	2単位以上					
子どもの心理と教育	選必	2	2							
教授・学習過程論	選必	2	3							
教育心理学特講	選必	2	3							
特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解	特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上					
特別支援教育の研究	選必	2	3							
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含 む。)	教育課程論	必修	1	1	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上		
				道徳教育実践論	選必	2	3			
				総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導法	特別活動	必修	2	3	2単位以上	
				特別活動実践論	選必	2	3			
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上	
				教育工学	選必	2	2			
				教育メディア論	選必	2	3			
教育評価	選必	2	3							
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上					
生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3							
教育相談の理論と方法	必修	2	3							
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)									
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位		
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4			
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4			
教職実践演習	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位					
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2			
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3			
【合計】		31	35							
【「第六欄」を除く合計】		27	23							

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「家庭」・高等学校教諭一種免許状「家庭」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄 教科に関する専門的 事項 教科及び教科の指導法に 関する科目	家庭経営学 (家族関係学及び家庭経済学を含む。)		20	20	家庭経営学	必修	2	1	「家庭電気・機械・情報処理」の領域を除き、必修科目以外に○印の科目を含み8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページの合計が59単位以上)	必修科目以外に○印の科目を含み8単位以上、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
	被服学 (被服製作実習を含む。)				○ 家庭経済学	選必	2	2		
					家族関係学	選必	2	3		
					生活福祉論	選必	2	3		
					被服学	必修	2	1		
					基礎被服学実習	必修	2	2		
					生活環境論	選必	2	3		
					被服学実験	選必	1	3		
					衣生活論	選必	2	4		
					応用被服学実習	選必	2	3		
食物学 (栄養学、食品学及び調理実習を含む。)				食物学	必修	2	1			
				食品学	選必	2	1			
				食生活論	選必	2	4			
				基礎調理実習	必修	2	2			
				○ 栄養学	選必	2	3			
				応用調理実習	選必	2	3			
				食物学実験	選必	1	3			
住居学		住居学 (製図を含む。)			住居学(住居設計・製図を含む)	必修	2	1		
保育学 (実習を含む。)		保育学 (実習及び家庭看護を含む。)			○ 保育学	選必	2	3		
					○ 家庭看護学	選必	2	4		
		家庭電気・機械・情報処理			○ 家庭電気・機械(情報処理を含む)	選必	2	4	※中学校免許ではカウントしない。	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			8	4	教科教育法「家庭」I	必修	2	1		
					教科教育法「家庭」II	必修	2	2		
					教科教育法「家庭」III	必修	2	3		
					教科教育法「家庭」IV	必修	2	4		
【合計】			28	24						

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「家庭」・高等学校教諭一種免許状「家庭」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
					教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
					教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2						
国際理解教育の研究	選必	2	3						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	10	8	教育心理学	必修	2	1	2単位以上		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			子どもの心理と教育	選必	2	2			
			教授・学習過程論	選必	2	3			
			教育心理学特講	選必	2	3			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			特別支援教育入門	必修	1	3	1単位以上		
			特別支援教育の研究	選必	2	3			
教育課程論	必修	1	1	1単位					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間の指導演法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上	
				道徳教育実践論	選必	2	3		
				総合的な学習の時間の指導演法	必修	1	3	1単位	
				特別活動の指導演法	特別活動	必修	2	3	2単位以上
					特別活動実践論	選必	2	3	
				教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	必修	1	1	1単位以上
					教育学	選必	2	2	
					教育メディア論	選必	2	3	
教育評価	選必	2	3						
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	必修	2	2	4単位以上				
	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	必修	2	3					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)							
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位		
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
		【合計】	31	35					
		【「第六欄」を除く合計】	27	23					

27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導演法に関する科目」との合計が59単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	免許要件履修方法		
	中学校	高等学校	単位 中学 高校					中学校	高等学校	
第二欄	教科に関する専門的事項	英語学	20	20	英語学概論	必修	2	2	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上	必修科目以外に8単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」(右のページ)の合計が59単位以上
					英語学演習Ⅰ	選必	2	3		
					英語学演習Ⅱ	選必	2	3		
		英語文学			英語文学概論	必修	2	2		
					英語文学演習Ⅰ	選必	2	3		
					英語文学演習Ⅱ	選必	2	3		
	英語コミュニケーション	Academic EnglishⅠ	必修	2	1					
		Academic EnglishⅡ	必修	2	2					
		Academic EnglishⅢ	選必	2	3					
		Academic EnglishⅣ	選必	2	4					
		Grammar and Vocabulary	選必	2	1					
		Academic Writing	選必	2	2					
異文化理解	English for Specific Purposes A	選必	2	2						
	English for Specific Purposes B	選必	2	3						
	Academic Reading A	選必	2	1						
	Academic Reading B	選必	2	1						
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語発音演習	必修	2	1						
	異文化理解概論	必修	2	1						
	英米文化演習A	選必	2	1						
	英米文化演習B	選必	2	2						
【合計】	8	4	28	24	教科教育法「英語」Ⅰ	必修	2	2		
					教科教育法「英語」Ⅱ	必修	2	2		
					教科教育法「英語」Ⅲ	必修	2	3		
					教科教育法「英語」Ⅳ	必修	2	3		

注)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

【中高免】中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等				本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	
		中学	高校						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	必修	2	1	2単位以上
		教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)			教育の歴史	選必	2	2	
					教育哲学	選必	2	2	
					教育学特講	選必	2	3	
					教職概論	必修	2	1	2単位
					教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	選必	2	2
学校教育と家庭・地域社会	選必	2	2						
教育制度(比較教育を含む)	選必	2	2						
教育行財政(教育法規を含む)	必修	2	3						
教育社会学特講	選必	2	3						
学級経営	選必	2	2						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	国際理解教育の研究	選必	2	3	2単位以上				
	教育心理学	必修	2	1					
	子どもの心理と教育	選必	2	2					
	教授・学習過程論	選必	2	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学特講	選必	2	3	1単位以上				
	特別支援教育入門	必修	1	3					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別支援教育の研究	選必	2	3	1単位				
	教育課程論	必修	1	1					
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	必修	2	2	2単位以上
		道徳教育実践論			選必	2	3		
		総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	必修	1	3	1単位
		特別活動の指導法			特別活動	必修	2	3	2単位以上
		特別活動実践論			選必	2	3		
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			教育方法論	必修	1	1	1単位以上
					教育学	選必	2	2	
					教育メディア論	選必	2	3	
生徒指導の理論及び方法	教育評価	選必	2	3	4単位以上				
	生徒指導・進路指導	必修	2	2					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導の研究(進路指導を含む)	選必	2	3	4単位以上				
	教育相談の理論と方法	必修	2	3					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	(「生徒指導・進路指導」をもって充てる。)							
第五欄	教育実践に関する科目	5	3	中等教育実地研究	選択	1	3	5単位	
				中等教育実習Ⅰ	選択	2	4		
				中等教育実習Ⅱ	自由	2	4		
2	2	教職実践演習(小・中・高)	選択	2	4	2単位			
第六欄	大学が独自に設定する科目	4	12	教育フィールド研究Ⅰ	選必	1	2		
				教育フィールド研究Ⅱ	選必	1	3		
		【合計】	31	35					
		【「第六欄」を除く合計】	27	23					

27単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が59単位以上

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)中学校教諭一種免許状取得には、「第五欄『教育実習』」について5単位の修得が必要です。卒業要件にはかかわりませんが、「中等教育実習Ⅱ」を必ず履修してください。

発達教育課程

取得できる教育職員免許状・資格

発達教育課程の卒業要件を満たしたうえで、「教育職員免許法施行規則」に定める指定科目及び「教育実践に関する科目」を修得すると、「教育職員免許状」(以下「免許状」という。)の取得に必要な要件を満たすことができます。自専修で取得できる免許を「自専修免」、他専修科目の必要な単位を修得することによって取得することができる免許状を「他専修免」と呼んでいます。

また、指定された科目の単位を修得すると得られる資格があります。

1. 各専修で取得できる免許状・資格の種類

専修	免許状・資格の種類「自専修免」	「他専修免」
特別支援教育専修	小学校教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状	幼稚園教諭一種免許状
初等連携教育専修	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状	特別支援学校教諭一種免許状
児童心理教育専修	小学校教諭一種免許状 認定心理士	幼稚園教諭一種免許状 特別支援学校教諭一種免許状
幼児心理教育専修	幼稚園教諭一種免許状 保育士	

2. 免許状取得に必要な資格と単位

発達教育課程では、教育職員免許法で定められている「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」や保育士資格取得に必要な単位の殆どが卒業要件の中に「必修」となっています。

免許状は、これ以外に教育実習等の「教育実践に関する科目」の単位を修得すれば、取得のための必要単位を満たすことになります。

(1) 基礎資格と必要な単位数

所要資格 免許状の種類	基礎資格	法令における最低修得単位数			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	16	21	14	
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2	
特別支援学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の普通免許状を有すること。				26

※ 「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注意1) 「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「特別支援教育に関する科目」は、法令上の領域に分けられています。その領域の条件を満たすように科目(カリキュラム)が開設されています。

(注意2) 「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注意3) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験 (5.「介護等体験」について 45 ページ参照)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 特別支援学校教諭免許状を取得する特別支援教育専修の学生
- ・ 保育士資格を取得する幼児心理教育専修の学生
- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設 年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体育科目	運動と健康 I	①	1	2
		運動と健康 II	①	1	
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情報基礎 又は情報活用	2	1	2

3. 教育実習について

教育実習は、免許状取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、幼稚園、小学校、特別支援学校に出向き、定められた期間、実習校の教師と同様に勤務し、観察、参加、実習を通し大学での修得した学問の研究の成果が、教育の現場で問われるものです。

その体験を通して、教師としての認識・自覚・態度を形成することによって教育者精神の把握、教育者としての使命感などを自覚し、後日、教師活動展開のための素地を育成することを意図しており、その意味で、教育実習は最後の総仕上げということになります。

(1) 教育実習の期間

所属専修	教育実習種別	実習期間	対応する科目
特別支援教育専修	小学校教育実習	20 日間	幼小教育実習Ⅲ
	特別支援学校教育実習	10 日間	障害児教育実習
初等連携教育専修	幼稚園教育実習	10 日間	幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ※
	小学校教育実習	20 日間	幼小教育実習Ⅲ
児童心理教育専修	小学校教育実習	20 日間	初等教育実習Ⅲ
幼児心理教育専修	幼稚園教育実習	20 日間	幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ

※「幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ」は、専修の指定によりどちらかを履修すること。

(2) 教育実習の履修資格について

「幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」及び「障害児教育実習」を履修する者は、「教育学部履修規程」に定められている次の条件を満たしていなければなりません。

【幼小教育実習Ⅰ・Ⅱ】

- ① 修得した単位のうち卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに40単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに60単位以上であること。
- ② 前年度終了までに、「幼稚園教育実地研究」の単位を修得済みであること。
- ③ 前年度終了までに、「乳幼児心理学」「教職概論」「教育方法の理論と実践」「教育課程概論」「教育行財政(教育法規を含む)」のうち、4科目以上を修得済みであること。
- ④ 前年度終了までに、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」のうち、「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現 A」「幼児と表現 B」から4科目以上を修得済みであること。
- ⑤ 「課程基幹科目」の8単位から6単位以上を修得済みであること。

【幼小教育実習Ⅲ】

- ① 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ② 修得した単位のうち卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに70単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに90単位以上であること。
- ③ 前年度終了までに、「小学校教育実地研究」の単位を修得済みであること。
- ④ 前年度終了までに、「教科概説『○○』」(計10単位)から8単位以上修得済みであること。
- ⑤ 前年度終了までに、「○○科教育」(計20単位)から16単位以上を修得済みであること。
- ⑥ 課程基幹科目(8単位)に加え、教職必修科目(計16単位)から20単位以上を修得済みであること。

【障害児教育実習】

- ① 当該年度に卒業の見込みがあること。
- ② 修得した単位のうち卒業要件に含めることができる単位の合計が、前年度春学期終了までに70単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに90単位以上であること。
- ③ 前年度秋学期終了までに特別支援教育専修の「課程基幹科目」(計26単位)から、20単位以上を修得済みであること。

【共通事項】

- ① 原則として、以下の条件を満たすこと。
 - ㉞ 介護等体験及び教育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。
 - ㉟ 教育実習に必要な書類が全て提出されていること。
 - ㊱ 教育実習費が完納されていること。
 - ㊲ 実習校・教育委員会などから課せられている条件を全て満たすこと。
- ② 注意事項
 - ㉞ 生活態度、健康状態などを健全に保つことに心掛けましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
 - ㉟ 病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(3) 教育実習校の配当・開拓について

幼稚園教育実習、小学校教育実習、特別支援学校教育実習は、大学が主に埼玉県・千葉県の一部及び東京都内の教育委員会と調整を図り、実習校を決定(配当)します。

※ 教育実習に関する詳細は、幼稚園については2年次の春学期、小学校及び特別支援学校については3年次の3～4月に行われる「教育実習開拓オリエンテーション」で説明します。

4. 「介護等体験」について

「介護等体験」とは、特別支援学校と生活訓練施設・老人ホーム等の社会福祉施設で障害者、高齢者等に対する介護、介助、交流等の体験を行うことです。

以下に概要を記しました。説明会や事前指導は必ず出席してください。欠席は認めません。さらに、ここには記載されていませんが、特別支援学校や社会福祉施設において行われるオリエンテーションがあります。体験の一環ですので必ず出席しなければなりません。申請説明会やオリエンテーションの日程等の連絡は、全て掲示やホームページでお知らせします。見落とさないよう注意してください。

なお、学生個人が、特別支援学校や社会福祉施設に直接体験の申し込みをすることは認められていません。大学が取りまとめて、教育委員会や社会福祉協議会へ申請をします。

※ 特別支援教育専修及び幼児心理教育専修の学生は、介護等体験は必要ありません。

学年	時期	「介護等体験」(体験日数)	
		特別支援学校(2日間)	社会福祉施設(5日間)
1年次	10～ 12月	説明会及び申請書提出 費用の納入(別掲載)	
2年次	4月	体験校の発表	
	5月～ 随時	本学教員による事前指導 体験実施及び体験証明書の授受	
3年次	10～ 12月		説明会及び申請書提出
	4月～ 随時		体験施設の発表(掲示) 本学教員による事前指導
	6月～ 随時		体験期間ごとの事前指導、資料配布 体験実施及び体験証明書の授受

5. 教職課程履修説明会及び登録手続について

(1) 教職課程履修説明会

教育学部で、教職課程の履修を希望する者は、1年次秋に開かれる免許状取得のための説明会に必ず出席し、取得する免許状のパターン登録の手続をする必要があります(登録制)。

この登録を怠ると、各種免許状に関わる証明書の発行は受けられませんし、他専修免については、在学中に免許状を取得するために必要な科目を履修することはできません。

また、2年次以降になって新たな免許状取得のための履修を希望しても認められない場合があります。

(2) 登録手続

説明会において登録のための「教職課程履修届」を配付します。

必要事項を記入して、定められた日に教務課へ提出してください。

(3) 教職課程の履修を中途放棄又は変更する場合

途中で教職課程の履修を断念又は変更する場合は、教務課にて「教職課程履修変更願」を受け取り、必要事項を記入したうえで、所属専修教務委員の承認を得て教務課に提出してください。

なお、他専修免登録者で4年生の履修登録後、規定単位数を修得できない場合は、必ず変更願を提出してください。変更願が提出されていない場合は、教育職員免許状取得見込証明書などの発行が受けられない場合があります。

6. 他専修免の取得について

他専修免は、所属専修によって履修条件(修得すべき単位数)が異なりますので注意してください。また、「他専修免」については、2年次から4年次の3年間に自分の所属する専修の卒業に必要な

科目の時間割を組んだ後、空いた時間で取得に必要な指定科目を履修していくため、在学中に免許状取得に必要な科目の全てを履修することができない場合があります。したがって、他専修免履修に際し、二種免許状取得に必要な科目を優先して履修するようにしてください。

(履修上の注意)

- ① 他専修免の履修については、1年次の秋学期に説明会を実施して詳しく説明します。
- ② 他専修免の履修については、指定された届出日までに申請のうえ、選考により履修が認められます。

7. 免許状の取得に必要な費用について

教職課程を履修する場合の、免許状取得に必要な科目の課程履修費及び納入時期は、次のとおりです。納入方法等は説明会にて指示します。

専修	免許種類	課程履修費	介護等体験費用※1	教育実習費※2	納入時期
特別支援教育専修	自専修免 (小免・特支免)	-	-	50,000円	※1:1年次の秋 ※2:実習を行う年度の4月
初等連携教育専修	自専修免 (幼免・小免)	-	15,000円	50,000円	
児童心理教育専修	自専修免 (小免)	-	15,000円	30,000円	
幼児心理教育専修	自専修免 (幼免)	-	-	30,000円	
課程共通	他専修免	20,000円	-	-	1年次の秋

8. 「認定心理士」資格について(児童心理教育専修のみ)

心理学の専門家として仕事をするために必要な、最小限の標準的基礎学力と技能を修得している、と日本心理学会が認定した資格で、専修基幹科目の単位の全てと選択必修科目の「認定心理士科目」から指定された科目の単位を修得することにより、取得ができます。

詳細は、専修オリエンテーションの際にお伝えします。

9. 「保育士資格」について(幼児心理教育専修のみ)

幼児心理教育専修は、保育士養成施設の指定を受けており、児童福祉法施行規則で定められている、保育士資格取得に必要な修業科目と単位が卒業要件に含まれています。

(1) 保育士資格取得に必要な設置単位数

法令	告示による教科目	修得すべき単位数
児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号及び平成30年厚生労働省告示第216号	必修科目	51単位
	選択必修科目	9単位以上 * 保育実習2単位以上含む。
	教養科目	8単位以上

(2) 告示に基づく開設科目

告示による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
教 養 科 目	外国語、体育 以外の科目	不問	6以上	宗教学	講義		2	2
				哲学	講義		2	2
				倫理学	講義		2	2
				文学	講義		2	2
				歴史学	講義		2	2
				論理学	講義		2	2
				音楽	講義		2	2
				美術	講義		2	2
				心理学	講義		2	2
				法律学	講義		2	2
				政治学	講義		2	2
				経済学	講義		2	2
				日本国憲法	講義	2		2
				社会学	講義		2	2
				文化人類学	講義		2	2
				地理学	講義		2	2
				教育学	講義		2	2
				科学思想史	講義		2	2
				数学	講義		2	2
				物理学	講義		2	2
				化学	講義		2	2
				宇宙地球科学	講義		2	2
				生態学	講義		2	2
				生物学	講義		2	2
				生理学	講義		2	2
				言語学	講義		2	2
				国際学	講義		2	2
				総合講座Ⅰ	講義		2	2
				総合講座Ⅱ	講義		2	2
				総合講座Ⅲ	講義		2	2
				総合講座Ⅳ	講義		2	2
				総合講座Ⅴ	講義		2	2
				総合講座Ⅵ	講義		2	2
				総合講座Ⅶ	講義		2	2
				総合講座Ⅷ	講義		2	2
				総合講座Ⅸ	講義		2	2
				総合講座Ⅹ	講義		2	2
	基礎演習	演習	2		2			
	教育課題演習	演習		2	2			
	国際理解教育	講義		2	2			
	生涯学習論(ボランティアを含む)	講義		2	2			
	人権教育	講義		2	2			
	鑑賞教育	講義		2	2			
	語りの技法	講義		2	2			
	海外教育研修	演習		1	1			
	ピアノ基礎技能演習	演習		1	1			
	海外教育実地研究	講義		2	2			
専門演習A	演習		2	2				
専門演習B	演習		2	2				
専門演習C	演習		2	2				
専門演習D	演習		2	2				
専門演習E	演習		2	2				
専門演習F	演習		2	2				
情報基礎	演習	2		2				
情報活用	演習	2		2				
情報A	演習		2	2				
情報B	演習		2	2				
情報C	演習		2	2				
情報D	演習		2	2				
情報E	演習		2	2				
外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習	2		2	
			英語Ⅱ	演習	2		2	
			英語Ⅲ	演習		2	2	
			英語Ⅳ	演習		2	2	

教 養 科 目	外国語			フランス語 I	演習		2	2	
				フランス語 II	演習		2	2	
				フランス語 III	演習		2	2	
				フランス語 IV	演習		2	2	
				ドイツ語 I	演習		2	2	
				ドイツ語 II	演習		2	2	
				ドイツ語 III	演習		2	2	
				ドイツ語 IV	演習		2	2	
				中国語 I	演習		2	2	
				中国語 II	演習		2	2	
				中国語 III	演習		2	2	
				中国語 IV	演習		2	2	
				コリア語 I	演習		2	2	
				コリア語 II	演習		2	2	
				コリア語 III	演習		2	2	
				コリア語 IV	演習		2	2	
	体 育	講義 実技	1 1	運動と健康 I	実技	1		1	
				運動と健康 II	講義	1		1	
					スポーツ・レクリエーション I	実技		1	1
					スポーツ・レクリエーション II	実技		1	1
				スポーツと人間 I	実技		1	1	
				スポーツと人間 II	実技		1	1	

告示別表第1による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
保 育 関 する 本 質 ・ 目 的 に	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2
	社会福祉	講義	2	社会福祉概論	講義	2		2
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2
	社会的養護 I	講義	2	社会的養護 I	講義	2		2
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2
理 保 育 の 対 象 の 科 目	保育の心理学	講義	2	乳幼児心理学	講義	2		2
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2		2
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		2
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2
保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	2		2
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1		1
	保育内容演習	演習	5	保育内容「人間関係」の指導法	演習	2		2
				保育内容「言葉」の指導法	演習	2		2
				保育内容「表現」の指導法	演習	2		2
				保育内容「健康」の指導法	演習	2		2
				保育内容「環境」の指導法	演習	2		2
	保育内容の理解と方法	演習	4	幼児と表現A(音楽)	演習	1		1
				(削除)				
				幼児と表現B(図画工作)	演習	1		1
				幼児と健康	演習	1		1
				幼児と人間関係	演習	1		1
				幼児と環境	演習	1		1
				幼児と言葉	演習	1		1
	乳児保育 I	講義	2	乳児保育 I	講義	2		2
	乳児保育 II	演習	1	乳児保育 II	演習	2		2
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	2		2
障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2	
社会的養護 II	演習	1	社会的養護 II	演習	2		2	
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	2		2	
実 保 育	保育実習 I	実習	4	保育実習 I 施設実習	実習	2		2
				保育実習 I 保育所実習	実習	2		2
	保育実習指導 I	演習	2	保育実地研究 I	演習	2		2
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	演習	2		2
合 計			51単位					

告示別表第2による教科目				指定保育士養成施設における教科目の開設状況(新)				
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数		
						必修	選択	計
的保 に育 関の す本 質 科・ 目 目				教育思想史	講義		2	2
				教育社会学	講義		2	2
				学校教育論	講義		2	2
				教職概論	講義		2	2
				特別支援教育概論	講義		2	2
				初等連携カリキュラム論	講義		2	2
解保 に育 関の す対 象 科の 目 理	各指定保育士養成施設において設定	不問	15以上	教育心理学概論	講義	2		2
				発達と学習の心理学Ⅰ(パーソナリティと社会性)	講義		2	2
				学校心理学	講義		1	1
				社会心理学	講義		2	2
				発達と学習の心理学Ⅱ(認知発達)	講義		2	2
				家族心理学	講義		2	2
				臨床心理学	講義		2	2
				児童文化論	講義		2	2
法保 に育 関の す内 容 科・ 目 方				子育て支援ネットワーク論	講義		2	2
				教育課程概論	講義		2	2
				教育方法の理論と実践	講義		2	2
				カウンセリング	講義	2		2
				カウンセリング演習	演習	2		2
				発達援助論	講義	2		2
				心理療法	講義		2	2
				対人関係論	講義		2	2
				教育メディア論	講義		2	2
				教科・教材論	講義		2	2
				教育と情報	演習		2	2
保育実践研究	講義		2	2				
保育 実習	保育実習Ⅱ又は 保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ保育所実習	実習	2		2
				保育実習Ⅲ施設実習	実習		2	2
	保育実習指導Ⅱ又は 保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実地研究Ⅱ	演習	2		2
合 計		18単位以上						

(3) 保育実習について

「保育実習Ⅰ・Ⅱ」は、3年次及び4年次において行われる資格取得のための必修科目です。通常の学内での授業とは異なり、施設・保育所に出向き、定められた期間、実習施設の保育士と同様に勤務し、観察、参加、実習を通して大学で修得した学問研究の成果が、現場で問われるものです。

その体験を通じて、保育士としての認識・自覚・態度を形成することによって、専門的職業である保育士としての使命感などを自覚し、後日、保育士活動展開のための素地を育成することを意図しています。

(ア) 保育士実習の期間

保育士実習期間	対応する科目名	開設年次
居住型児童福祉施設で12日間	保育実習Ⅰ施設実習	3
保育所で12日間	保育実習Ⅰ保育所実習	4
保育所で12日間	保育実習Ⅱ保育所実習	

(イ) 「保育実習」の履修資格

- ① 3年次で「保育実習Ⅰ施設実習」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。

- ・ 修得した単位のうち卒業の要件に含めることのできる単位の合計が、前年度春学期終了までに40単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに 60 単位以上であること。
 - ・ 前年度終了までに、「保育実地研究Ⅰ」を修得済みであること。
 - ・ 前年度終了までに、「子どもの保健」「保育原理」「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」「保育の計画と評価」のうち、4科目以上を修得済みであること。
 - ・ 「課程基幹科目」の 8 単位から 6 単位以上を修得済みであること。
- ② 4年次で「保育実習Ⅰ 保育所実習」及び「保育実習Ⅱ 保育所実習」を履修する者は、次の条件を満たしていなければなりません。
- ・ 当該年度に卒業の見込みがあること。
 - ・ 修得した単位のうち卒業の要件に含めることのできる単位の合計が、前年度春学期終了までに70単位以上、かつ、前年度秋学期終了までに 90 単位以上であること。
 - ・ 前年度終了までに「保育実習Ⅰ 施設実習」を修得済みであること。
 - ・ 前年度終了までに、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」のうち、「保育内容『〇〇』の指導法」(計 10 単位)から 8 単位以上を修得済みであること。

【共通事項】

- ① 原則として、以下の条件を満たすこと。
- ㉞ 保育実習に関する説明会やオリエンテーションに全て出席していること。
 - ㉟ 保育実習に必要な書類が全て提出されていること。
 - ㊱ 保育実習費が完納されていること。
 - ㊲ 実習施設・自治体などから課せられている条件を全て満たすこと。
- ② 注意事項
- ㉞ 生活態度、健康状態などを健全に保つことに心掛けましょう。不安がある場合は、本学実習担当をはじめとした教職員に相談してください。
 - ㉟ 病気、事故などを除き、実習を途中放棄した場合は、当該年度の実習単位は認めません。

(ウ) 保育実習施設の配当について

保育所実習については、大学が居住地や埼玉県内等の保育所と調整を図り、実習を行う施設を決定(配当)します。

(4) 資格の取得に必要な費用について

保育士資格取得に必要な科目の課程履修費・保育実習に係る諸費用及び納入時期は、次のとおりです。納入方法等は説明会にて指示します。

費用区分	納入金額	納入時期
保育実習Ⅰ 施設実習	20,000 円	実習を行う年度の4月
保育実習Ⅰ・Ⅱ 保育所実習	30,000 円	実習を行う年度の4月

10.免許状取得に必要な科目と単位数

教育学部 発達教育課程

【自専修免】特別支援教育専修、初等連携教育専修、児童心理教育専修

小学校教諭一種免許状

小学校教諭免許状取得に必要な科目は、各専修(幼児心理教育専修を除く。)のカリキュラム表に全て含まれます。
このページ及び次ページの表は、各科目が法令にどのように規定されているか確認するためのものです。

[教科及び教科の指導法に関する科目]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	教科概説「国語」	1	1	10単位	「履修条件」を満たし、かつ、「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が60単位以上
			教科概説「社会」	1	1		
			教科概説「算数」	1	1		
			教科概説「理科」	1	1		
			教科概説「生活」	1	1		
			教科概説「音楽」	1	1		
			教科概説「図画工作」	1	1		
			教科概説「家庭」	1	1		
			教科概説「体育」	1	1		
			教科概説「英語」	1	1		
	各教科教材の指導法の活用を含む。(情報機器及び)		国語科教育	2	2	20単位	
			社会科教育	2	2		
			算数科教育	2	2		
			理科教育	2	2		
			生活科教育	2	2		
			音楽科教育	2	2		
			図画工作科教育	2	2		
			家庭科教育	2	2		
			体育科教育	2	2		
			英語教育	2	2		

発達教育課程 小学校教諭一種免許状

[教育の基礎的理解に関する科目等]

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授業科目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	○ 教育原理 教育思想史	2	1	2単位以上	○印の科目を全て含み30単位以上、かつ、「教科及び教科の指導法に関する科目」との合計が60単位以上
			○ 教職概論	2	1		
			○ 教育行財政(教育法規を含む) 学校教育論 教育社会学	2	2	2単位以上	
			○ 教育心理学概論 発達と学習の心理学Ⅰ(パーソナリティと社会性)	2	2		
			○ 学校心理学 児童文化論	2	2		
			○ 発達と学習の心理学Ⅱ(認知発達)	2	3		
			○ 特別支援教育概論	2	1	2単位	
○ 教育課程概論 初等連携カリキュラム論 幼小接続教育内容論A 幼小接続教育内容論B	2	2	2単位以上				
2	2						
2	2						
2	2						
第四欄	道徳・総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	○ 道徳教育の理論と方法	2	2	2単位以上	
			○ 特別活動(総合的な学習の時間の指導法を含む)	2	3	2単位	
			○ 教育方法の理論と実践 学習指導論 教科・教材論	2	1	2単位以上	
			2	3			
			○ 生徒指導・進路指導	2	2	4単位以上	
			○ 教育相談の理論と方法 対人関係論	2	3		
			2	3			
(生徒指導・進路指導)							
第五欄	教育実践に関する科目	5	○ 小学校教育実地研究	2	3	○印を含み、△から4単位以上、計6単位以上	
			△ 幼小教育実習Ⅰ	2	3		
△ 幼小教育実習Ⅱ	2	3					
△ 幼小教育実習Ⅲ	2	4					
○ 保育・教職実践演習(幼・小)	2	4	2単位				
第六欄	大学が独自に設定する科目	14	生活科・総合的学習教育論	2	3		
			教育フィールド研究Ⅰ	1	2		
			教育フィールド研究Ⅱ	1	3		
			チーム援助論	2	3		
			学級づくり論	2	3		
			教育実践研究	2	3		
			器楽表現基礎Ⅰ	2	1		
			器楽表現基礎Ⅱ	2	2		
			器楽伴奏法Ⅰ	2	3		
			器楽伴奏法Ⅱ	2	3		
			造形表現演習	2	3		
			身体表現演習	2	3		

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)所属専修によって開設科目が異なります。他専修で開設している科目は履修できないことがあります。

「履修のてびき」を確認してください。

発達教育課程

【自専修免】初等連携教育専修, 幼児心理教育専修

【他専修免】特別支援教育専修

幼稚園教諭一種免許状

このページ及び次ページの表から指定された科目・単位を修得すること。

〔領域及び保育内容の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	1	1	6単位	16単位以上、かつ、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」との合計が51単位以上
			人間関係	1	1		
			環境	1	1		
			言葉	1	1		
			表現	1	2		
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目 (保育内容の指導法(情報機器及び教材)の活用を含む。)	16	造形表現演習	2	3	10単位	
			身体表現演習	2	3		
			保育内容「健康」の指導法	2	3		
			保育内容「人間関係」の指導法	2	3		
			保育内容「環境」の指導法	2	3		
保育内容「言葉」の指導法	2	3					
保育内容「表現」の指導法	2	3					

発達教育課程

幼稚園教諭一種免許状

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位				
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位	授 業 科 目	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	○ 教育原理 教育思想史	2	1	2単位以上	○印の科目全てを含み24単位以上、かつ、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」との合計が51単位以上
			○ 教職概論	2	1		
			教育行財政(教育法規を含む) 学校教育論 教育社会学	2	2	2単位以上	
			2	1			
			2	2			
			○ 教育心理学概論 発達と学習の心理学Ⅰ(パーソナリティと社会性)	2	1	2単位以上	
2	2						
学校心理学	2	2					
2	3						
○ 特別支援教育概論 障害児保育	2	1	2単位以上				
2	3						
○ 教育課程概論 初等連携カリキュラム論 幼小接続教育内容論A 幼小接続教育内容論B	2	2	2単位以上				
2	2						
2	2						
2	2						
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 幼児理解の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		○ 教育方法の理論と実践 教科・教材論	2	1	2単位以上	
			○ 教育相談の理論と方法(幼児理解を含む)	2	3		
			教育相談の理論と方法(幼児理解を含む) 対人関係論	2	3	2単位以上	
第五欄	教育実践に関する科目	5	○ 幼稚園教育実地研究 △ 幼小教育実習Ⅰ △ 幼小教育実習Ⅱ △ 幼小教育実習Ⅲ	2	2	○印を含み、△から4単位以上、計6単位以上	
			2	3			
2	3						
2	4						
第六欄	大学が独自に設定する科目	14	生活科・総合的学習教育論	2	3		
			教育フィールド研究Ⅰ	1	2		
			教育フィールド研究Ⅱ	1	3		
			器楽表現基礎Ⅰ	2	1		
			器楽表現基礎Ⅱ	2	2		
			器楽伴奏法Ⅰ	2	3		
			器楽伴奏法Ⅱ	2	3		

注1)この表は卒業要件を確認するものではありません。卒業要件については、「履修のてびき」を確認してください。

注2)所属専修によって開設科目が異なります。他専修で開設している科目は履修できないことがあります。

「履修のてびき」を確認してください。

発達教育課程

【自専修免】特別支援教育専修

特別支援学校教諭一種

(知的障害者に関する教育の領域)(肢体不自由者に関する教育の領域)(病弱者に関する教育の領域)

法令上の規定				本学における開講科目・単位						
法令上の領域		担任可能領域	最低修得単位数	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目		全領域	2	障害児教育総論	必修	2	1	2単位以上	
					障害児教育の歴史	選択	2	2		
					障害児教育思想史	選択	2	2		
					小児保健学	選択	2	2		
					障害児福祉学	選択	2	3		
第二欄	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的、肢体又は病弱	1 4 16	知的障害児の発達と心理	必修	2	1	8単位以上	26単位以上
					知的障害児の生理・病理	必修	2	1		
					肢体不自由児の心理・生理・病理	必修	2	2		
					病弱児の心理・生理・病理	必修	2	1		
					知的障害児の心理アセスメント	選択	1	3		
					知的障害児の行動理解	選択	2	2		
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的、肢体又は病弱	2	知的障害児の指導	必修	2	1	6単位以上	
					肢体不自由児の指導	必修	2	3		
					病弱児の指導	必修	2	3		
					障害児の個別指導計画	選択	1	4		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚又は聴覚	1 2	8	開設なし					
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目									
第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	全領域	5	発達障害・重複障害児教育総論	必修	2	2	6単位	
					視覚障害児教育総論	必修	2	2		
					聴覚障害児教育総論	必修	2	3		
第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	全領域	3	障害児教育実地研究	必修	2	4	4単位		
				障害児教育実習	選択	2	4			

※ 特別支援学校教諭の免許状を取得するためには、小学校教諭一種免許状の取得が必要です。

人間科学部

I. 教職課程について

人間科学部では、将来教員を志望する者のために、教職課程が設けられています。

基礎資格を取得し、必要単位を修得した者は、教育職員免許法によって教育職員免許状(以下「免許状」という。)取得の資格を得ることができます。

1. 各学科で取得できる免許状と履修の条件

(1) 人間科学科

人間科学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「社会」 「公民」 「福祉」	学科で課程認定を受けている免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

人間科学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ㉞ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ㉟ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ㊱ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ㉟ 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(73 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ㊲ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

(2) 臨床心理学科

臨床心理学科に所属する学生が取得できる免許状は以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「社会」 「公民」	学科で課程認定を受けている免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「福祉」	人間科学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

臨床心理学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ㉞ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ㉟ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ㊱ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ㉟ 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(73 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ㊲ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

(3) 心理学科

心理学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「社会」 「公民」 「福祉」	人間科学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

心理学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の3パターンです。

- ① 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」
- ② 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」「福祉」
- ③ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ① 中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば履修を認めることがあります。
- ② 高等学校一種「福祉」については、2年次以降に新たな希望があっても認められません。ただし、社会福祉士受験資格課程(73 ページ「取得できる資格について」参照)履修者が、高等学校一種「福祉」へ変更を希望する場合は、2年次秋学期の履修登録前までに申し出があれば、認めることがあります。
- ③ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。
また、2年次以降に新たな希望があっても認められません。
- ④ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「社会」・高等学校一種「公民」へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、認められます。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の授与を受けるためには、「基礎資格」を有し、取得しようとする免許状の「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の法令で定められている単位数を取得しなければなりません。

免許状の種類	基礎資格	法令における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	23	12
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2

※「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。

(注)「大学が独自に設定する科目」の最低取得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(2) 介護等体験(詳細は、70 ページ「6.「介護等体験」について」を参照してください。)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下の該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 高等学校一種「福祉」を取得する学生
- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3) 免許状取得に必要な科目(免許種別にかかわらず)

法令上の規定	カリキュラム 開設領域	科目名	単位	開設年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2
体 育	体 育 科 目	運 動 と 健 康 I 運 動 と 健 康 II	① ①	1 1	2
外 国 語 コミュニケーション	外 国 語 科 目	英 語 I	②	1	2
情報機器の操作	共通教養科目	情 報 基 礎 情 報 活 用 情 報 A 情 報 B 情 報 C 情 報 D 情 報 E	2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	2

(4) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

〔教科及び教科の指導法に関する科〕

施行規則に定める科目区分等 各科目に含めることが 必要な事項			本学における開講科目・単位							履修条件	修得すべき 単位数
中学校	高等学校	授業科目	人間科学科		臨床心理学科						
			単位	年次	単位	年次	単位	年次			
教科に関する専門的 事項 教科及び教科の指導法に関する科目	日本史・外国史	/	○ 日本史N	2	2	○ 日本史R	2	2	6単位	42 単 位 以 上	
			○ 東洋史N	2	2	○ 東洋史R	2	2			
	地理学 (地誌を含む。)	/	○ 西洋史N	2	2	○ 西洋史R	2	2	4単位		
			○ 地理学N	2	2	○ 地理学R	2	2			
	「法学、政 治学」	「法学(国 際法を含む)、政治学 (国際政治を 含む。)」	○ 地誌学N	2	2	○ 地誌学R	2	2	○印の科目 を全て含み 8単位以上		
			○ 法学Ⅰ(国際法を含む)N	2	2	○ 法学Ⅰ(国際法を含む)R	2	2			
			法学Ⅱ(国際法を含む)N	2	2	法学Ⅱ(国際法を含む)R	2	2			
			行政学N	2	3	行政学R	2	3			
			行政法N	2	3	行政法R	2	3			
			○ 政治学Ⅰ(国際政治を含む)N	2	3	○ 政治学Ⅰ(国際政治を含む)R	2	3			
政治学Ⅱ(国際政治を含む)N	2	3	政治学Ⅱ(国際政治を含む)R	2	3						
「社会学、経 済学」	「社会学、経 済学(国際 経済学を含 む。)」	○ 教育行政学N	2	3	教育行政学R	2	3	○印の科目 を全て含み 12単位以上			
		社会学概論	2	1	社会学概論※注5	2	1				
		○ 社会学Ⅰ(国際社会学を含む)N	2	2	○ 社会学Ⅰ(国際社会学を含む)R	2	2				
		社会学Ⅱ(国際社会学を含む)N	2	2	社会学Ⅱ(国際社会学を含む)R	2	2				
		現代社会論N	2	2	現代社会論R	2	1				
		現代家族論N	2	2	現代家族論R	2	2				
		労働と人間N	2	3	労働と人間R	2	3				
		地域とグローバルコミュニティN	2	1	地域とグローバルコミュニティR	2	2				
現代社会と階層N	2	3	現代社会と階層R	2	3						
「哲学、倫理 学、宗教学」	「哲学、倫理 学、宗教学、 心理学」	日本文化論N	2	3	日本文化論R	2	3	○印の科目 を全て含み 4単位以上			
		社会心理学N	2	2	実存的人間論R	2	2				
		実存的人間論N	2	2	○ 哲学R	2	3				
		○ 哲学N	2	3	○ 倫理学R	2	3				
		○ 倫理学N	2	3	発達心理学	2	1				
各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)					感情・人格心理学	2	1	8単位	8単位		
		○ 社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	○ 社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3				
		○ 社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3	○ 社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3				
		○ 社会科・公民科教育法Ⅲ	2	3	○ 社会科・公民科教育法Ⅲ	2	3				
		○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2	3	○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2	3				

注1) 人間科学科及び臨床心理学科の学生は、自分の所属学科の科目を履修してください。

注2) 心理学科の学生は、人間科学科の科目を履修してください。

注3) 日本史N・R、西洋史N・R、東洋史N・R、地理学N・R、地誌学N・R、社会科・公民科教育法Ⅰ～Ⅳは、卒業要件の単位に含めること

注4) ビジネスと法、発達心理学R、感情・人格心理学、知覚・認知心理学は、臨床心理学科の学生のみ対象の免許用科目となります。

人間科学科及び心理学科の学生は、履修しても免許科目の単位とはなりません。

(心理学科で開設している発達心理学、人格心理学(感情・人格心理学Ⅰ)、感情心理学(感情・人格心理学Ⅱ)、

認知心理学(知覚・認知心理学Ⅰ)、知覚心理学(知覚・認知心理学Ⅱ)を履修した場合も、免許用科目の単位とはなりません。)

注5) 臨床心理学科の学生は、「社会学概論」は高等学校教諭一種免許状「公民」には算定できません。

(4)中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位							履修条件	修得すべき 単位数
法令上の領域	単位		授 業 科 目								
	中学	高校	人間科学科	単位	年次	臨床心理学科	単位	年次			
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	* 教育学概論	2	1	* 教育学概論	2	1	2単位	30単位以上	
			教職概論	2	2	教職概論	2	2	2単位		
			○* 教育社会学N	2	2	○* 教育社会学R	2	2	○印の科目を含み 2単位以上		
			○* 現代学校教育論N	2	2	○* 現代学校教育論R	2	2			
			* 教育心理学N	2	2	* 教育心理学R	2	1	2単位		
			特別支援教育概論	2	2	特別支援教育概論	2	2	2単位		
教育課程論	1	2	教育課程論	1	2	1単位					
道徳、総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 2単位以上	
			総合的な学習の時間の指導法	1	2	総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位		
			特別活動の指導法	2	3	特別活動	2	3	2単位		
			教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 教育方法の理論と実践	2	2	○ 教育方法の理論と実践	2	2		○印の科目を含み 2単位以上
				* 教育評価N	2	2	* 教育評価R	2	2		
				教育方法・技術	2	3	教育方法・技術	2	3		
			教育工学	2	3	教育工学	2	3			
			生徒指導の理論及び方法								
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	* 生徒指導・進路指導N	2	2	* 生徒指導・進路指導R	2	2	4単位				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	* 教育相談の理論と方法N	2	3	* 教育相談の理論と方法R	2	3					
関する実践科目	5	3	教育実地研究	2	3	教育実地研究	2	3	6単位		
			教育実習			中学校教育実習					
			中学校教育実習	4	4	中学校教育実習	4	4			
教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	2	4	教職実践演習(小・中・高)	2	4	2単位		

注1) *印は、人間科学部の専門教育科目です。

注2) 学部専門教育科目については、人間科学科及び臨床心理学科の学生は自分の所属学科の科目を、心理学科の学生は人間科学科の科目をそれぞれ履修してください。

注3) 「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(5) 中学校教諭一種免許状「社会」、高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位									
区分	各科目に含めることが必要な事項		授業科目						履修条件	修得すべき単位数		
	中学校	高等学校	人間科学科		臨床心理学科		単位	年次				
			単位	年次	単位	年次	単位	年次				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史N ○ 東洋史N ○ 西洋史N	2 2 2	2 2 2	○ 日本史R ○ 東洋史R ○ 西洋史R	2 2 2	2 2 2	6単位	42 単 位 以 上		
		地理学(地誌を含む。)	○ 地理学N ○ 地誌学N	2 2	2 2	○ 地理学R ○ 地誌学R	2 2	2 2	4単位			
		「法律学、政治学」	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○ 法学Ⅰ(国際法を含む)N ○ 法学Ⅱ(国際法を含む)N ○ 行政学N ○ 行政法N ○ 政治学Ⅰ(国際政治を含む)N ○ 政治学Ⅱ(国際政治を含む)N ○ 教育行政学N	2 2 2 2 2 2 2	2 2 3 3 3 3 3	○ 法学Ⅰ(国際法を含む)R ○ 法学Ⅱ(国際法を含む)R ○ 行政学R ○ 行政法R ○ 政治学Ⅰ(国際政治を含む)R ○ 政治学Ⅱ(国際政治を含む)R ○ 教育行政学R ○ ビジネスと法	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 3 3 3 3 3 3		○印の科目を全て含み8単位以上	
		「社会学、経済学」	「社会学、経済学(国際経済学を含む。)」	○ 社会学概論 ○ 経済学Ⅰ(国際経済学を含む)N ○ 経済学Ⅱ(国際経済学を含む)N ○ 地域とグローバルコミュニティN ○ 現代家族論N ○ 現代社会論N ○ 日本文化論N ○ 現代社会と階層N ○ 労働と人間N	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 1 2 2 3 3 3	○ 社会学概論※注8 ○ 経済学Ⅰ(国際経済学を含む)R ○ 経済学Ⅱ(国際経済学を含む)R ○ 地域とグローバルコミュニティR ○ 現代家族論R ○ 現代社会論R ○ 日本文化論R ○ 現代社会と階層R ○ 労働と人間R	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 1 3 3 3		○印の科目を全て含み12単位以上	
		「哲学、倫理学、宗教学」	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 社会心理学N ○ 実存的人間論N ○ 哲学N ○ 倫理学N	2 2 2 2	2 2 3 3	○ 実存的人間論R ○ 哲学R ○ 倫理学R ○ 発達心理学 ○ 感情・人格心理学 ○ 知覚・認知心理学	2 2 2 2 2 2	2 3 3 1 1 1		○印の科目を全て含み4単位以上	
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 社会科・公民科教育法Ⅰ ○ 社会科・公民科教育法Ⅱ ○ 社会科・公民科教育法Ⅲ ○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2 2 2 2	3 3 3 3	○ 社会科・公民科教育法Ⅰ ○ 社会科・公民科教育法Ⅱ ○ 社会科・公民科教育法Ⅲ ○ 社会科・公民科教育法Ⅳ	2 2 2 2	3 3 3 3		8単位	8単位
		教科及び教科の指導法に関する科目	高等学校「福祉」	社会福祉学(職業指導を含む。)	○ 人間生活の歴史と福祉 ○ 社会福祉学原論 ○ 社会保障論Ⅰ ○ 社会保障論Ⅱ	2 2 2 2	1 2 3 3	○ 人間生活の歴史と福祉 ○ 社会福祉学原論 ○ 社会保障論Ⅰ ○ 社会保障論Ⅱ	2 2 2 2		1 2 3 3	○印の科目を全て含み28単位以上
				高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉	○ 児童家庭福祉論 ○ 老人福祉論 ○ 障害者福祉実践論 ○ 児童家庭福祉実践論	2 2 2 2	1 2 2 2	○ 児童家庭福祉論 ○ 老人福祉論 ○ 障害者福祉実践論 ○ 児童家庭福祉実践論	2 2 2 2		1 2 2 2	
				社会福祉援助技術	○ 社会福祉援助技術総論 ○ ソーシャルワーク論 ○ ケースワーク・グループワーク論 ○ コミュニティワーク論	2 2 2 2	2 2 3 3	○ 社会福祉援助技術総論 ○ ソーシャルワーク論 ○ ケースワーク・グループワーク論 ○ コミュニティワーク論	2 2 2 2		2 2 3 3	
				介護理論及び介護技術	○ 介護概論 ○ ケアマネジメント論	2 2	2 2	○ 介護概論 ○ ケアマネジメント論	2 2		2 2	
社会福祉総合実習(社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。)	○ 相談援助実習指導Ⅰ ○ 相談援助実習指導Ⅱ ○ 相談援助実習指導Ⅲ ○ 相談援助実習Ⅰ			2 2 2 2	2 2 3 3	○ 相談援助実習指導Ⅰ ○ 相談援助実習指導Ⅱ ○ 相談援助実習指導Ⅲ ○ 相談援助実習Ⅰ	2 2 2 2	2 3 3 3				
人体構造及び日常生活行動に関する理解	○ 医学知識 ○ 身体運動基礎理論			2 2	2 2	○ 医学知識 ○ 身体運動基礎理論	2 2	2 2				
加齢及び障害に関する理解	○ 障害者福祉論 ○ 福祉カウンセリング			2 2	2 3	○ 障害者福祉論 ○ 福祉カウンセリング	2 2	2 3				
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)				○ 福祉科教育法Ⅰ ○ 福祉科教育法Ⅱ	2 2	3 3	○ 福祉科教育法Ⅰ ○ 福祉科教育法Ⅱ	2 2	3 3	4単位	4単位	

注1)人間科学科及び心理学科の学生は、全て人間科学科の科目を履修してください。

注2)臨床心理学科の学生は、中学校「社会」、高等学校「公民」に関する科目は臨床心理学科の科目を履修してください。(なお、ビジネスと法は心理学科開設科目となります。)

注3)臨床心理学科の学生は、高等学校「福祉」に関する科目は人間科学科の科目を履修してください。

注4)日本史N・R、西洋史N・R、東洋史N・R、地理学N・R、地誌学N・R、

社会科・公民科教育法Ⅰ～Ⅳ、福祉科教育法Ⅰ・Ⅱは、卒業要件の単位に含めることはできません。

注5)ビジネスと法、発達心理学R、感情・人格心理学、知覚・認知心理学は、臨床心理学科の学生のみ対象の免許用科目となります。人間科学科及び心理学科の学生は、履修しても免許科目の単位とはなりません。

(心理学科で開設している発達心理学、人格心理学(感情・人格心理学Ⅰ)、感情心理学(感情・人格心理学Ⅱ)、認知心理学(知覚・認知心理学Ⅰ)、知覚心理学(知覚・認知心理学Ⅱ)を履修した場合も、免許用科目の単位とはなりません。)

注6)臨床心理学科の学生は、「社会学概論」は高等学校教諭1種免許状「公民」には算定できません。

注7)「相談援助実習Ⅰ」を履修するためには、前年度までに1年次・2年次に開講する次の4科目を履修していなければなりません。

- ①社会福祉学原論、②介護概論、③老人福祉論、ケアマネジメント論、障害者福祉論、障害者福祉実践論のうち1科目、
- ④相談援助実習指導Ⅰ。(①～④の科目に加え、1年次に開講する「社会福祉学概論」を履修することが望ましい。)

注8)「相談援助実習指導Ⅱ・Ⅲ」の2科目は、「相談援助実習Ⅰ」と同年度に履修しなければなりません。

(5) 中学校教諭一種免許状「社会」・高等学校教諭一種免許状「公民」「福祉」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定		本学における開講科目・単位									
法令上の領域	単位		授業科目						履修条件	修得すべき 単位数	
	中学	高校	人間科学科		単位	年次	臨床心理学科				単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	* 教育学概論	2	1	* 教育学概論	2	1	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	2	2	教職概論	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			○* 教育社会学N	2	2	○* 教育社会学R	2	2	○印の科目を含み 2単位以上	
				○* 現代学校教育論N	2	2	○* 現代学校教育論R	2	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			* 教育心理学N	2	2	* 教育心理学R	2	1	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	2	2	特別支援教育概論	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	1	2	教育課程論	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	2	2	道徳教育の理論と方法	2	2	2単位	○印の科目を含み 2単位以上
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	1	2	総合的な学習の時間の指導法	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	2	3	特別活動	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法の理論と実践	2	2	○ 教育方法の理論と実践	2	2	○印の科目を含み 2単位以上	
				* 教育評価N	2	2	* 教育評価R	2	2		
				教育方法・技術	2	3	教育方法・技術	2	3		
	教育学			2	3	教育学	2	3			
	生徒指導の理論及び方法			* 生徒指導・進路指導N	2	2	* 生徒指導・進路指導R	2	2	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	* 教育相談の理論と方法N	2	3	* 教育相談の理論と方法R	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法											
関する実践科目	教育実習	5	3	教育実地研究	2	3	教育実地研究	2	3	6単位	
	中学校教育実習			4	4	中学校教育実習	4	4			
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	2	4	教職実践演習(小・中・高)	2	4	2単位	

注1) *印は、人間科学部の専門教育科目です。

注2) 学部専門教育科目については、人間科学科及び臨床心理学科の学生は自分の所属学科の科目を、心理学科の学生は人間科学科の科目をそれぞれ履修してください。

注3) 「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

文学部

I. 教職課程について

文学部には、将来教員を志望する者のために、教職課程が設けられています。

基礎資格を取得し、必要単位を修得した者は、教育職員免許法によって教育職員免許状(以下「免許状」という。)取得の資格を得ることができます。教職課程の履修を希望する場合は、1年次に開かれる説明会に必ず出席し、登録の手続をする必要があります(登録制)。

1. 各学科で取得できる免許状と履修の条件

(1) 日本語日本文学科

日本語日本文学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「国語」 「国語」 「書道」	学科で課程認定を受けている免許状
中学校教諭二種免許状 〔以下「中学校二種」〕	「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

日本語日本文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の5パターンです。

- ㉞ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」
- ㉟ 高等学校一種「書道」
- ㊱ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」
- ㊲ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・中学校二種「英語」
- ㊳ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㉟ 中学校二種「英語」および、小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」・高等学校一種「書道」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(2)英米語英米文学科

英米語英米文学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「英語」 「英語」	学科で課程認定を受けている免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

英米語英米文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の2パターンです。

- ㉞ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」
- ㉟ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉞ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㉟ 小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㊱ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(3)中国語中国文学科

中国語中国文学科に所属する学生が取得できる免許状は以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	「中国語」 「中国語」	学科で課程認定を受けている免許状
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「国語」 「国語」 「書道」	日本語日本文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
中学校教諭二種免許状 中学校教諭二種免許状 〔以下「中学校二種」〕	「国語」 「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講することによって取得できる免許状
小学校教諭一種免許状 〔以下「小学校一種」〕		教育学部の科目を聴講することによって取得できる免許状

② 取得できる免許状の履修パターン

中国語中国文学科で取得できる免許状は前述のとおりですが、全ての免許状が取得できるわけではありません。履修の方法としては次の6パターンです。

- ㉗ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」
- ㉘ 中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」
- ㉙ 高等学校一種「書道」
- ㉚ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」・中学校二種「国語」
- ㉛ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」・中学校二種「英語」
- ㉜ 小学校一種

③ 履修上の注意

- ㉗ 中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」または中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」については、3年次の履修登録前までに、新たな取得希望の申し出があれば、履修を認めることがあります。
- ㉘ 高等学校一種「書道」、中学校二種「国語」「英語」および小学校一種の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。
- ㉙ 小学校一種の取得希望者が、中学校一種「中国語」・高等学校一種「中国語」または中学校一種「国語」・高等学校一種「国語」取得へ変更を希望する場合は、3年次の履修登録前までに申し出があれば、履修を認めることがあります。

(4)外国語学科

外国語学科に所属する学生が取得できる免許状は、以下のとおりです。

① 取得できる免許状の種類と教科

免許状の種類	教科	取得形態
中学校教諭一種免許状 〔以下「中学校一種」〕	「英語」	英米語英米文学科の科目を聴講すること によって取得できる免許状
高等学校教諭一種免許状 〔以下「高等学校一種」〕	「英語」	

② 取得できる免許状の履修パターン

外国語学科で取得できる免許状は前述のとおりです。履修の方法としては次の1パターンのみです。

- ㉗ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」

③ 履修上の注意

- ㉗ 中学校一種「英語」・高等学校一種「英語」の取得希望者については、選考により履修が認められます。2年次以降に希望をしても、履修は認められません。

2. 免許状取得に必要な資格と単位

(1) 基礎資格と必要な単位数

免許状の授与を受けるためには、「基礎資格」を有し、取得しようとする免許状の「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」「大学が独自に設定する科目」の法令で定められている単位数を修得しなければなりません。

所要資格	基礎資格	法令における最低修得単位数		
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	28	27	4
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	18	12
中学校教諭二種免許状	短期大学士(※)の学位を有すること。	12	19	4
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	30	27	2

※「学士の学位」は、大学を卒業した者に授与されます。
（「短期大学士の学位」は、短期大学を卒業した者に授与されます。）

(注1) 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をもって満たすことができます。

(注2) 卒業要件のために修得した科目(単位)を、免許状取得のために再度修得する必要はありません。

(2) 介護等体験(118 ページ「6.介護等体験」について参照)

「教育職員免許特例法」により、義務教育(小・中学校)の免許状取得を希望する場合、「介護等体験」が義務付けられています。また、体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」は、免許状授与申請の際の必要書類となります。

ただし、以下に該当する場合は、「介護等体験」は必要ありません。

- ・ 介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者(看護師等)
- ・ 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者(障害者手帳を所持している者)

(3)免許状取得に必要な科目(免許種類にかかわらず)

法令上の規程	カリキュラム開設領域	科目名	単位	開設年次	修得すべき 単位数
日本国憲法	共通教養科目	日本国憲法	2	1	2単位
体 育	体 育 科 目	運 動 と 健 康 I 運 動 と 健 康 II	① ①	1 1	2単位
外国語 コミュニケーション	外国語科目	英 語 I フ ラ ン ス 語 I ド イ ツ 語 I 中 国 語 I コ リ ア 語 I	② ② ② ② ②	1 1 1 1 1	1科目2単位 選択必修
情報機器の操作	共通教養科目	情 報 基 礎 情 報 活 用 情 報 A 情 報 B 情 報 C 情 報 D 情 報 E	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	1科目2単位 選択必修

(4) 中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
各科目に含めることが必要な事項			授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修 得 す べ き 単 位 数
中学校	高等学校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学基礎演習Ⅰ	必修	2	1	○印の科目を 全て含み合計 36単位以上修 得すること。	38単位以上
			日本語学基礎演習Ⅱ	必修	2	1		
			日本語学概論Ⅰ	必修	2	2		
			日本語学概論Ⅱ	必修	2	2		
			日本語学演習Ⅰ－(1)	選必	2	2		
			日本語学演習Ⅰ－(2)	選必	2	2		
			日本語学講義Ⅱ－(1)	選必	2	3		
			日本語学講義Ⅱ－(2)	選必	2	3		
			○ 日本語史Ⅰ	選必	2	3		
			○ 日本語史Ⅱ	選必	2	3		
国文学 (国文学史を含む。)	日本近代文学演習Ⅰ	必修	2	1	○印の科目を 全て含み合計 36単位以上修 得すること。	38単位以上		
	日本近代文学演習Ⅱ	必修	2	1				
	日本古典文学演習Ⅰ	必修	2	2				
	日本古典文学演習Ⅱ	必修	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(1)	選必	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(2)	選必	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(1)	選必	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(2)	選必	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(1)	選必	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(2)	選必	2	2				
○ 日本文学史Ⅰ－(1)	選必	2	2					
○ 日本文学史Ⅰ－(2)	選必	2	2					
○ 日本文学史Ⅱ－(1)	選必	2	2					
○ 日本文学史Ⅱ－(2)	選必	2	2					
漢文学	漢文学概論(N)	必修	2	2				
	漢文学講読Ⅰ(N)	選必	2	2				
	漢文学講読Ⅱ(N)	選必	2	2				
書道 (書写を中心とする。)	○ 書道実技Ⅰ	選択	1	1	○印の科目を 全て含み2単位 以上修得する こと。			
	○ 書道実技Ⅱ	選択	1	1				
	書道Ⅰ－(1)	選択	2	2				
	書道Ⅰ－(2)	選択	2	2				
	書道Ⅱ－(1)	選択	2	3				
	書道Ⅱ－(2)	選択	2	3				
	書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	2				
	書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2	2				
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
	○ 国語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
	○ 国語科教育学Ⅰ	選必	2	2				
	○ 国語科教育学Ⅱ	選必	2	2				

注) 網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(4) 中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定				本学における開講科目・単位					
法令上の領域		単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育工学	自由	2	3		
	教育評価			自由	2	3			
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(5) 高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等		本学における開講科目・単位					
各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	区 分	単 位	年 次	履 修 条 件	修 得 す べ き 単 位 数
高等学校							
教科 に関する 専門的 事項	書道 (書写を含む。)	○ 書道実技Ⅰ	選択	1	1	○印の科目 を全て含み 合計36単位 以上修得す ること。	36単位以上
		○ 書道実技Ⅱ	選択	1	1		
		○ 書道Ⅰ－(1)	選択	2	2		
		○ 書道Ⅰ－(2)	選択	2	2		
		○ 書道Ⅱ－(1)	選択	2	3		
		○ 書道Ⅱ－(2)	選択	2	3		
		○ 書道Ⅲ－(1)	選択	2	4		
	○ 書道Ⅲ－(2)	選択	2	4			
	書道史	○ 書道史Ⅰ	選択	2	3		
		○ 書道史Ⅱ	選択	2	3		
「書論、鑑賞」	○ 書論・鑑賞	選択	2	3			
「国文学、漢文学」	日本近代文学演習Ⅰ	必修	2	1			
	日本近代文学演習Ⅱ	必修	2	1			
	日本古典文学演習Ⅰ	必修	2	2			
	日本古典文学演習Ⅱ	必修	2	2			
	漢文学概論(N)	必修	2	2			
	日本文学講読Ⅰ－(1)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅰ－(2)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅱ－(1)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅱ－(2)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅲ－(1)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅲ－(2)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅳ－(1)	選必	2	2			
	日本文学講読Ⅳ－(2)	選必	2	2			
	○ 日本文学史Ⅰ－(1)	選必	2	2			
	○ 日本文学史Ⅰ－(2)	選必	2	2			
	○ 日本文学史Ⅱ－(1)	選必	2	2			
○ 日本文学史Ⅱ－(2)	選必	2	2				
漢文学講読Ⅰ(N)	選必	2	2				
漢文学講読Ⅱ(N)	選必	2	2				
各教科の指導法(情報機器及び教材 の活用を含む。)	○ 書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	2	○印の科目 を全て含み4 単位以上	○印の科目 を全て含み4 単位以上	
	○ 書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2	2			
	書道科教育法Ⅰ	自由	2	3			
	書道科教育法Ⅱ	自由	2	3			

注) 網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(5)高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定				本学における開講科目・単位					
法令上の領域		単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育工学	自由	2	3		
	教育評価			自由	2	3			
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3	4単位				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(6)中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等		本学における開講科目・単位						
各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
中学校	高等学校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学Ⅰ	選必	2	2	各領域から○印の科目を全て含み合計30単位以上修得すること。	30単位以上
			英語学Ⅱ	選必	2	2		
			英語文法演習	必修	2	2		
			英語学演習Ⅰ	選必	2	2		
英語学演習Ⅱ	選必		2	2				
応用英語学Ⅱ	選必		2	2				
英語学特講	選必		4	3				
意味論	選必		2	3				
英文法論	選必		2	3				
音韻論	選必		2	3				
英語文学	○ 英語文学Ⅰ	選必	2	2				
	英語文学Ⅱ	選必	2	2				
	英語文学講読Ⅰ	選必	2	2				
	英語文学講読Ⅱ	選必	2	2				
	英語文学特殊研究Ⅰ	選必	2	3				
	英語文学特殊研究Ⅱ	選必	2	3				
	英語文学特講Ⅰ	選必	2	3				
	英語文学特講Ⅱ	選必	2	3				
英語文学特講Ⅲ	選必	2	3					
英語コミュニケーション	Communicative EnglishⅠ(E)	必修	2	1				
	Communicative EnglishⅡ(E)	必修	2	1				
	ReadingⅠ	必修	2	1				
	ReadingⅡ	必修	2	1				
	ReadingⅢ	必修	2	1				
	ReadingⅣ	必修	2	1				
	英語音声学	必修	2	1				
	Academic Writing	必修	2	2				
異文化理解	英米文化入門	選必	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅠ	選必	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅡ	選必	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅢ	選必	2	1				
	○ 英米文化Ⅰ(E)	選必	2	2				
	英米文化Ⅱ(E)	選必	2	2				
	英米文化演習Ⅰ	選必	2	2				
	英米文化演習Ⅱ	選必	2	2				
	英米文化特講Ⅰ(E)	選必	2	3				
	英米文化特講Ⅱ(E)	選必	2	3				
	英米文化特殊研究Ⅰ	選必	2	3				
	英米文化特殊研究Ⅱ	選必	2	3				
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位	
		英語科教育法Ⅱ	自由	2	3			
英語教育学Ⅰ		選必	2	2				
英語教育学Ⅱ		選必	2	2				

注)網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(6) 中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位						
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数	
	中学	高校							
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育工学	自由	2	3		
				教育評価	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践科目に関する	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(7)日本語日本文学科・中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等		本学における開講科目・単位						
各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数	
中学校								
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	○ 英語学Ⅰ	自由	2	2	各領域から○印の科目を全て含み合計12単位以上修得すること。	12単位以上
			英語学Ⅱ	自由	2	2		
			英語文法演習	自由	2	2		
			英語学演習Ⅰ	自由	2	2		
			英語学演習Ⅱ	自由	2	2		
	英語文学	○ 英語文学Ⅰ	自由	2	2			
		英語文学Ⅱ	自由	2	2			
		英語文学講読Ⅰ	自由	2	2			
		英語文学講読Ⅱ	自由	2	2			
	英語コミュニケーション	○ Communicative EnglishⅠ(E)	自由	2	2			
		Communicative EnglishⅡ(E)	自由	2	2			
		○ ReadingⅠ	自由	2	2			
		ReadingⅡ	自由	2	2			
		ReadingⅢ	自由	2	2			
		ReadingⅣ	自由	2	2			
		英語音声学	自由	2	2			
○ Academic Writing	自由	2	2					
異文化理解	英米文化入門	自由	2	2				
	○ 英米文化Ⅰ(E)	自由	2	2				
	英米文化Ⅱ(E)	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅰ	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅱ	自由	2	2				
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 英語科教育法Ⅰ	自由	2	3	6単位	6単位	
		○ 英語科教育法Ⅱ	自由	2	3			
		○ 英語教育学Ⅰ	選必	2	2			

※履修上の注意

「英語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。
 なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

中学校二種免許状「英語」の履修について

中学校二種免許状「英語」の履修について、次のとおり内規が定められています。

1. 履修資格について

履修希望者が次のうちいずれかを満たしていること。

- TOEIC(TOEIC IPを含む)またはTOEIC Listening&Reading(TOEIC Listening&Reading IPを含む) 450点以上
- TOEFL iBT 35点以上
- 実用英語検定(英検)準2級以上
- 文教大学外国語科目「英語」1年次春学期の成績が「A」以上

2. 人数制限について

- ・中学校二種免許状「英語」の履修者は、10名以下とする。
- ・履修希望者が10名を超える場合には、選考を行う。

(7)日本語日本文学科・中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「英語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位						
法令上の領域		単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
		中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育工学	自由	2	3		
				教育評価	自由	2	3		
	生徒指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法									
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(8) 中学校教諭一種免許状「中国語」・高等学校教諭一種免許状「中国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等		本学における開講科目・単位					
各科目に含めることが必要な事項		授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
中学校	高等学校						
中国語学		中国語文法・講読Ⅰ	必修	2	1	○印の科目を全て含み16単位以上修得すること。	36単位以上
		中国語文法・講読Ⅱ	必修	2	1		
		中国語文法・講読Ⅲ	必修	2	2		
		中国語文法・講読Ⅳ	必修	2	2		
○ 中国語学概説Ⅰ	選必	2	2				
○ 中国語学概説Ⅱ	選必	2	2				
中国語学講義Ⅰ	選必	2	2				
中国語学講義Ⅱ	選必	2	2				
中国語学演習Ⅰ	選必	2	2				
中国語学演習Ⅱ	選必	2	2				
中国語学演習Ⅲ	選必	2	2				
中国語学演習Ⅳ	選必	2	2				
中国文学		○ 中国現代文化論概説	選必	2	2		
		中国現代文化論講義Ⅰ	選必	2	2		
		中国現代文化論演習Ⅰ	選必	2	2		
		中国現代文化論演習Ⅱ	選必	2	2		
		○ 中国古典学概説Ⅰ	選必	2	2		
		○ 中国古典学概説Ⅱ	選必	2	2		
		中国古典学講義Ⅰ	選必	2	2		
		中国古典学講義Ⅱ	選必	2	2		
		中国古典学演習Ⅰ	選必	2	2		
		中国古典学演習Ⅱ	選必	2	2		
		中国古典学演習Ⅲ	選必	2	2		
		中国古典学演習Ⅳ	選必	2	2		
中国語コミュニケーション		中国語会話・作文Ⅰ	必修	2	1		
		中国語会話・作文Ⅱ	必修	2	1		
		中国語会話・作文Ⅲ	必修	2	2		
		中国語会話・作文Ⅳ	必修	2	2		
		○ 中国語演習Ⅰ(リーディング)	選必	2	2		
		○ 中国語演習Ⅱ(ライティング)	選必	2	2		
		中国語演習Ⅲ(検定初級支援Ⅰ)	選必	2	2		
		中国語演習Ⅳ(検定初級支援Ⅱ)	選必	2	2		
中国語演習Ⅴ(検定中級支援Ⅰ)	選必	2	3				
中国語演習Ⅵ(検定中級支援Ⅱ)	選必	2	3				
異文化理解		中国歴史・地理基礎Ⅰ	必修	2	1	○印の科目を必ず修得すること。	
		中国歴史・地理基礎Ⅱ	必修	2	1		
		○ 中国現代社会論概説	選必	2	2		
		中国現代社会論講義Ⅰ	選必	2	2		
		中国現代社会論演習Ⅰ	選必	2	2		
中国現代社会論演習Ⅱ	選必	2	2				
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		中国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位
		中国語科教育法Ⅱ	自由	2	3		
		中国語科教育学	選必	4	3		

注) 網掛けの科目は必修科目です。「教員免許状」取得のために改めて履修する必要はありません。

(8)中学校教諭一種免許状「中国語」・高等学校教諭一種免許状「中国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位					修得すべき 単位数	
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件		
	中学	高校							
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	自由	2	2	2単位	30単位以上
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職概論	自由	2	2	2単位	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)			教育行財政(教育法規を含む)	自由	2	3	2単位	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			教育心理学	自由	2	2	2単位	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			特別支援教育概論	自由	2	2	2単位	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)			教育課程論	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目及び	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育の理論と方法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
	総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
	特別活動の指導法			特別活動	自由	2	3	2単位	
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)			○ 教育方法・技術	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
				教育学	自由	2	3		
				教育評価	自由	2	3		
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導	自由	2	3	4単位				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論と方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
				中学校教育実習	自由	4	4		
	教職実践演習	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(9)中国語中国文学科

中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位							
各科目に含めることが必要な事項			授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数		
中学校	高等学校									
国語学 (音声言語及び文章表現に 関するものを含む。)			○ 日本語学概論Ⅰ	自由	2	2	○印の科目 を全て含み 合計36単位 以上修得す ること。	38単位以上		
			○ 日本語学概論Ⅱ	自由	2	2				
			○ 日本語学講義Ⅱ－(1)	自由	2	3				
			○ 日本語学講義Ⅱ－(2)	自由	2	3				
			○ 日本語史Ⅰ	自由	2	3				
		○ 日本語史Ⅱ	自由	2	3					
国文学 (国文学史を含む。)			○ 日本近代文学演習Ⅰ	自由	2	1			○印の科目 を全て含み 合計36単位 以上修得す ること。	38単位以上
			○ 日本近代文学演習Ⅱ	自由	2	1				
			○ 日本古典文学演習Ⅰ	自由	2	2				
			○ 日本古典文学演習Ⅱ	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅰ－(1)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅰ－(2)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅱ－(1)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅱ－(2)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅲ－(1)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅲ－(2)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅳ－(1)	自由	2	2				
			○ 日本文学講読Ⅳ－(2)	自由	2	2				
			○ 日本文学史Ⅰ－(1)	自由	2	2				
		○ 日本文学史Ⅰ－(2)	自由	2	2					
		○ 日本文学史Ⅱ－(1)	自由	2	2					
		○ 日本文学史Ⅱ－(2)	自由	2	2					
漢文学			○ 漢文学概論(N)	自由	2	2				
			○ 漢文学講読Ⅰ(N)	自由	2	2				
			○ 漢文学講読Ⅱ(N)	自由	2	2				
書道 (書写を中心 とする。)			○ 書道実技Ⅰ	自由	1	1	○印の科目 を全て含み2 単位以上修 得すること。			
			○ 書道実技Ⅱ	自由	1	1				
			○ 書道Ⅰ－(1)	自由	2	2				
			○ 書道Ⅰ－(2)	自由	2	2				
			○ 書道Ⅱ－(1)	自由	2	3				
			○ 書道Ⅱ－(2)	自由	2	3				
			○ 書写・書道教育研究Ⅰ	自由	2	2				
			○ 書写・書道教育研究Ⅱ	自由	2	2				
各教科の指導法(情報機器及び 教材の活用を含む。)			○ 国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
			○ 国語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
			○ 国語科教育学Ⅰ	選必	2	2				
			○ 国語科教育学Ⅱ	選必	2	2				

注)「国語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。
 なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

(9)中国語中国文学科

中学校教諭一種免許状「国語」・高等学校教諭一種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位					
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	自由	2	2	2単位	30単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	自由	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	自由	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	自由	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	自由	2	2	2単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	10	8	道徳の理論及び指導法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
			特別活動の指導法	自由	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
			教育工学	自由	2	3		
			教育評価	自由	2	3		
			生徒指導の理論及び方法	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	自由	2	3	4単位				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
			中学校教育実習	自由	4	4		
	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(10)中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「国語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
各科目に含めることが必要な事項			授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき単位数
中学校	高等学校							
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○ 日本語学概論Ⅰ	自由	2	2	○印の科目を全て含み合計18単位以上修得すること。	20単位以上
		○ 日本語学概論Ⅱ	自由	2	2			
		○ 日本語学講義Ⅰ－(1)	自由	2	2			
		○ 日本語学講義Ⅰ－(2)	自由	2	2			
		○ 日本語学講義Ⅱ－(1)	自由	2	3			
		○ 日本語学講義Ⅱ－(2)	自由	2	3			
○ 日本語史Ⅰ	自由	2	3					
○ 日本語史Ⅱ	自由	2	3					
国文学 (国文学史を含む。)	○ 日本近代文学演習Ⅰ	自由	2	2				
○ 日本近代文学演習Ⅱ	自由	2	2					
○ 日本古典文学演習Ⅰ	自由	2	2					
○ 日本古典文学演習Ⅱ	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅰ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅰ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅱ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅱ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅲ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅲ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅳ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学講読Ⅳ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学史Ⅰ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学史Ⅰ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学史Ⅱ－(1)	自由	2	2					
○ 日本文学史Ⅱ－(2)	自由	2	2					
漢文学	○ 漢文学概論(N)	自由	2	2				
○ 漢文学講読Ⅰ(N)	自由	2	2					
○ 漢文学講読Ⅱ(N)	自由	2	2					
書道 (書写を中心とする。)	○ 書道実技Ⅰ	自由	1	2	2単位			
○ 書道実技Ⅱ	自由	1	2					
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 国語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
	○ 国語科教育法Ⅱ	自由	2	3				

注)「国語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

(10)中国語中国文学科

中学校教諭二種免許状「国語」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位					
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	自由	2	2	2単位	30単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	自由	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	自由	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	自由	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	自由	2	2	2単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	10	8	道徳の理論及び指導法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
			特別活動の指導法	自由	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
			教育工学	自由	2	3		
			教育評価	自由	2	3		
生徒指導の理論及び方法	自由	2	3	4単位				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	自由	2	3	4単位				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
			中学校教育実習	自由	4	4		
	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(11)中国語中国文学科

高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	法令上の規定	本学における開講科目・単位					修得すべき単位数
		高等学校	授業科目	区分	単位	年次	履修条件	
		書道 (書写を含む。)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書道実技Ⅰ ○ 書道実技Ⅱ ○ 書道Ⅰ－(1) ○ 書道Ⅰ－(2) ○ 書道Ⅱ－(1) ○ 書道Ⅱ－(2) ○ 書道Ⅲ－(1) ○ 書道Ⅲ－(2) 	自由	1	1	○印の科目を全て修得すること。	
書道史	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書道史Ⅰ ○ 書道史Ⅱ 	自由	2	3				
「書論、鑑賞」	○ 書論・鑑賞	自由	2	3				
「国文学、漢文学」	日本近代文学演習Ⅰ	自由	2	1				
	日本近代文学演習Ⅱ	自由	2	1				
	日本古典文学演習Ⅰ	自由	2	2				
	日本古典文学演習Ⅱ	自由	2	2				
	○ 漢文学概論(N)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅰ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅱ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅲ－(2)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅳ－(1)	自由	2	2				
	日本文学講読Ⅳ－(2)	自由	2	2				
	○ 日本文学史Ⅰ－(1)	自由	2	2				
日本文学史Ⅰ－(2)	自由	2	2					
○ 日本文学史Ⅱ－(1)	自由	2	2					
日本文学史Ⅱ－(2)	自由	2	2					
漢文学講読Ⅰ(N)	自由	2	2					
漢文学講読Ⅱ(N)	自由	2	2					
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 書写・書道教育研究Ⅰ	選択	2	2	○印の科目を全て含み4単位以上	4単位以上		
	○ 書写・書道教育研究Ⅱ	選択	2	2				
	書道科教育法Ⅰ	自由	2	3				
	書道科教育法Ⅱ	自由	2	3				

注)「書道」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、自由科目になります。

(11)中国語中国文学科

高等学校教諭一種免許状「書道」

〔教育の基礎的理解に関する科目等〕

法令上の規定			本学における開講科目・単位					
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	自由	2	2	2単位	30単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	自由	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	自由	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	自由	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	自由	2	2	2単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	10	8	道徳の理論及び指導法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
			特別活動の指導法	自由	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	自由	2	3	4単位	
			教育工学	自由	2	3		
			教育評価	自由	2	3		
生徒指導の理論及び方法	自由	2	3	4単位				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	自由	2	3					
教育実践に関する科目	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
			中学校教育実習	自由	4	4		
	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。

(12)外国語学科

中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

〔教科及び教科の指導法に関する科目〕

施行規則に定める科目区分等			本学における開講科目・単位					
各科目に含めることが必要な事項			授 業 科 目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
中学校	高等学校							
教科 及び 教科の 指導法に 関する 科目	教科 に関 する 専門 的事 項	英語学	○ 英語学Ⅰ	自由	2	2	各領域から○印の 科目を全て含み合 計30単位以上修得 すること。	30単位以上
			英語学Ⅱ	自由	2	2		
			英語文法演習	自由	2	2		
			英語学演習Ⅰ	自由	2	2		
			英語学演習Ⅱ	自由	2	2		
			応用英語学Ⅱ	自由	2	2		
			英語学特講	自由	4	3		
			意味論	自由	2	3		
			英文法論	自由	2	3		
		音韻論	自由	2	3			
		英語文学	○ 英語文学Ⅰ	自由	2	2		
			英語文学Ⅱ	自由	2	2		
			英語文学講読Ⅰ	自由	2	2		
			英語文学講読Ⅱ	自由	2	2		
			英語文学特殊研究Ⅰ	自由	2	3		
			英語文学特殊研究Ⅱ	自由	2	3		
英語文学特講Ⅰ	自由		2	3				
英語文学特講Ⅱ	自由		2	3				
英語文学特講Ⅲ	自由	2	3					
英語コミュニケーション	○ Communicative EnglishⅠ(E)	自由	2	1				
	Communicative EnglishⅡ(E)	自由	2	1				
	○ ReadingⅠ	自由	2	1				
	ReadingⅡ	自由	2	1				
	ReadingⅢ	自由	2	1				
	ReadingⅣ	自由	2	1				
英語音声学	自由	2	2					
○ Academic Writing	自由	2	2					
異文化理解	英米文化入門	自由	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅠ	自由	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅡ	自由	2	1				
	Overseas Study Preparation SeminarⅢ	自由	2	1				
	○ 英米文化Ⅰ(E)	自由	2	2				
	英米文化Ⅱ(E)	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅰ	自由	2	2				
	英米文化演習Ⅱ	自由	2	2				
	英米文化特講Ⅰ(E)	自由	2	3				
	英米文化特講Ⅱ(E)	自由	2	3				
英米文化特殊研究Ⅰ	自由	2	3					
英米文化特殊研究Ⅱ	自由	2	3					
各教科の指導法(情報機器及び教材 の活用を含む。)	○ 英語科教育法Ⅰ	自由	2	3	8単位	8単位		
	○ 英語科教育法Ⅱ	自由	2	3				
	○ 英語教育学Ⅰ	選必	2	2				
	○ 英語教育学Ⅱ	選必	2	2				

注) 網掛けの、英米語英米文学科が開講する「Communicative EnglishⅠ(E)」及び「英米文化Ⅰ(E)」を履修して修得した4単位は、外国語学科専門教育科目の選択必修科目の単位として算定できます。

注) 「英語」免許の「教科に関する専門的事項」領域の科目の学期ごとに履修できる単位数は、10単位までとします。

なお、「教科及び教科の指導法に関する科目」は、上記の網掛けの科目を除き、自由科目になります。

中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修について

中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修について、次のとおり内規が定められています。

1. 履修資格について

履修希望者が次のうちいずれかを満たしていること。

a. TOEIC(TOEIC IPを含む)またはTOEIC Listening&Reading(TOEIC Listening&Reading IPを含む) 500点以上

b. TOEFL iBT 45点以上

c. 実用英語技能検定(英検) 2級以上

2. 人数制限について

・中学校・高等学校一種免許状「英語」の履修者は、10名以下とする。

・履修希望者が10名を超える場合には、選考を行う。

(12)外国語学科

中学校教諭一種免許状「英語」・高等学校教諭一種免許状「英語」

[教育の基礎的理解に関する科目等]

法令上の規定			本学における開講科目・単位					
法令上の領域	単位		授業科目	区分	単位	年次	履修条件	修得すべき 単位数
	中学	高校						
教育の基礎的理解に関する科目	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	自由	2	2	2単位	30単位以上
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	自由	2	2	2単位	
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	自由	2	3	2単位	
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	自由	2	2	2単位	
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	自由	2	2	2単位	
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	自由	1	2	1単位	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	10	8	道徳の理論及び指導法	自由	2	2	2単位	○印の科目を含み2単位以上
			総合的な学習の時間の指導法	自由	1	2	1単位	
			特別活動の指導法	自由	2	3	2単位	
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	自由	2	3	○印の科目を含み2単位以上	
			教育工学	自由	2	3		
			教育評価	自由	2	3		
			生徒指導の理論及び方法	自由	2	3	4単位	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	自由	2	3					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	自由	2	3					
教育する実践に関する科目	5	3	教育実地研究	自由	2	3	6単位	
			中学校教育実習	自由	4	4		
	2	2	教職実践演習(小・中・高)	自由	2	4	2単位	

注)「道徳教育の理論と方法」は、高等学校教諭免許の要件では、「大学が独自に設定する科目」に算定されます。